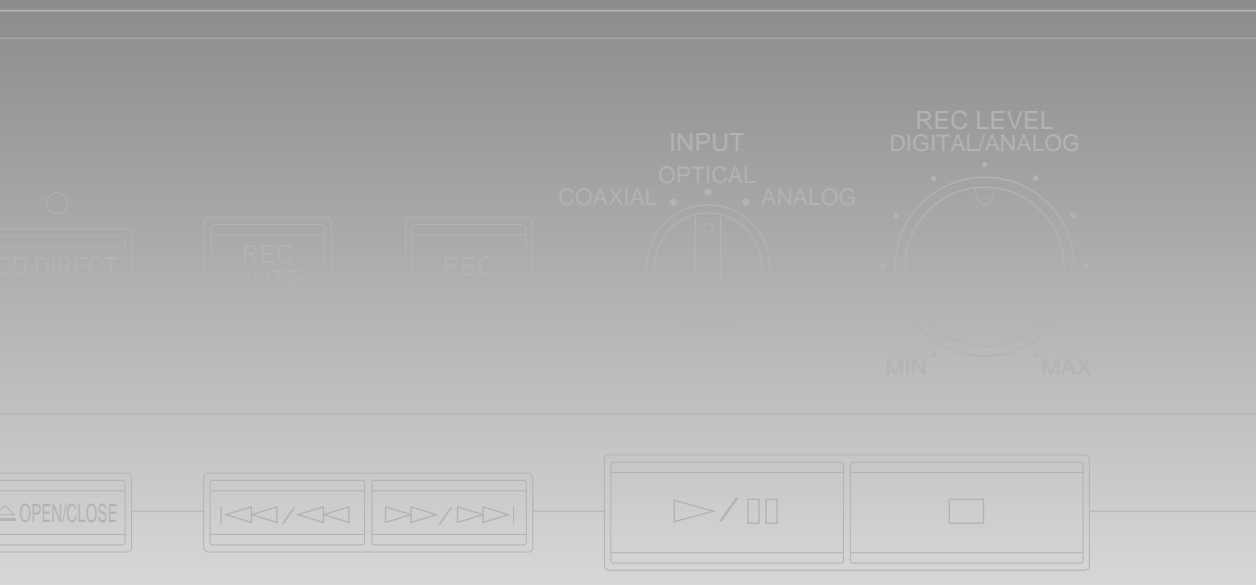




CDR-S1000

CD レコーダ



このたびは、ヤマハコンパクトディスクレコーダ CDR-S1000をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

CDR-S1000の優れた性能を十分に発揮させるとともに、未永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用前に必ずお読みくださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

本機は電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください。

ご注意

本機のご使用に際しては、著作権法に抵触しないよう、ご注意ください。

著作権について

放送やレコード、ディスク、テープ、その他の録音物の音楽作品は、著作権法により保護されています。

従って、それらから録音したディスクやテープを

- ・売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合
- ・営利(店のBGMなど)のために使用する場合

は、権利者の許諾が必要です。

詳しい内容や申請、その他の手続きについては、下記までお尋ねください。

お問い合わせ先：

(社)日本音楽著作権協会(JASRAC) TEL(03)5481-2121

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問い合わせ先：

(社)私的録音補償金協会 TEL(03)5353-0336



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

安全上のご注意(安全に正しくお使いいただくために)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

絵表示の例



記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。



分解禁止

⓪記号は禁止の行為であることを告げるものです。



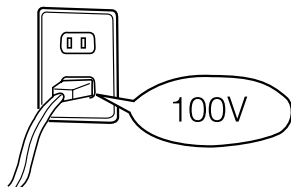
記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



警告

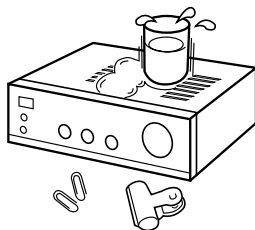
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ⓪ 電源電圧交流100V以外の電圧で使用しない



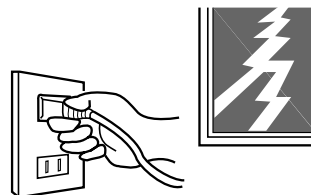
火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。

- ⓪ 水を入れたり、ぬらさない



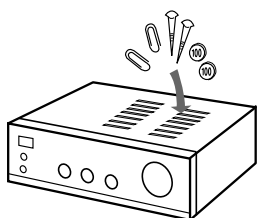
火災・感電の原因となります。本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。

- ⓪ 雷が鳴っているときは、アンテナ線や電源プラグに触れない



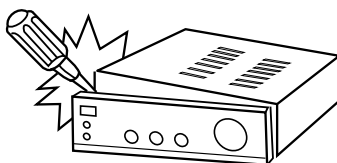
感電の原因となります。

- ⓪ 通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない



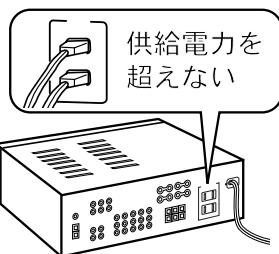
火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- ⓪ 分解・改造を絶対しない(分解禁止)(キャビネットをはずすことも含む)



火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

- ⓪ 供給電力を超える消費電力の機器を、電源供給コンセントに接続しない



火災の原因となります。接続機器の消費電力の合計が本機背面に表示されている供給電力を超えないようにしてください。また、供給電力内であっても電源を入れたときに大電流の流れる機器(電熱器具、ヘアドライヤー、電子レンジなど)は接続しないでください。

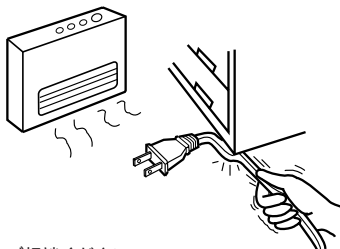


警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

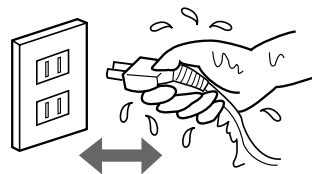
⊘ 電源コード・プラグを破損するようなことをしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる・ねじる、引っばる、束ねる、重いものをのせるなどしない)



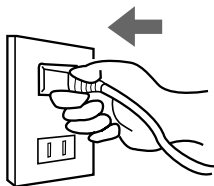
火災・感電の原因となります。
コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

⊘ 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない



感電の原因となります。

❗ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



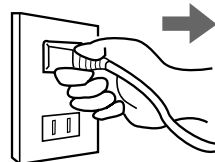
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
抜くときは必ずプラグを持ち、コードを引っばらないでください。
傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

❗ 電源プラグのほこりなどは定期的にとる



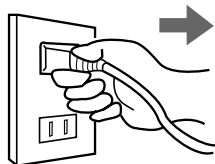
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠ 機器の内部に水や異物が入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く



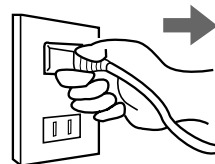
販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 煙が出たり変なおいや音がしたら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

⚠ 落としたりして本機を損傷した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く



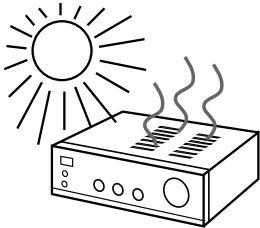
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



注意

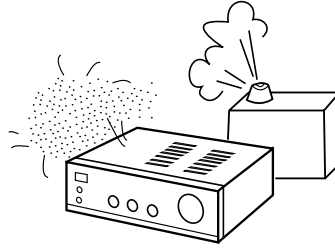
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

- ⊘ 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に置かない



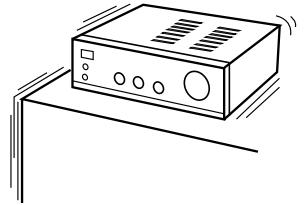
キャビネットや部品に悪い影響を与えたり、内部の温度が上昇し、火災の原因となります。

- ⊘ 湿気やほこりの多い場所に置かない



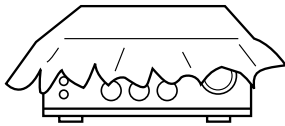
火災・感電の原因となります。

- ⊘ 振動のある場所、ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない



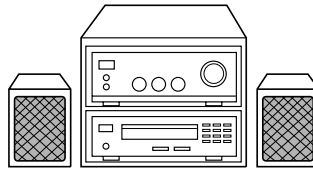
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

- ⊘ 通風孔をふさがない



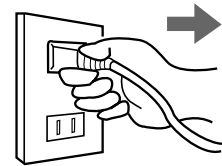
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となりますので、次の点に注意してください。テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。

- ⚠ 放熱をよくするために他の機器との間は少し離して置く



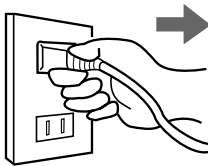
火災・故障の原因となります。ラックなどに入れるときは、本機の天面から10cm以上、背面から10cm以上、左右側面から10cm以上のすきまを開けてください。

- 🔌 各機器を接続する場合は電源プラグを抜き、説明に従って接続する



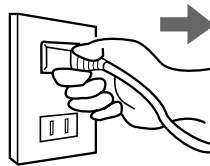
各々の機器の取扱説明書をよく読み、接続には指定のコードを使用してください。

- 🔌 移動するときは電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜き、外部の接続コードを外す



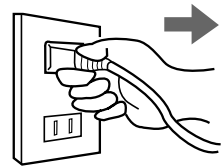
コードが傷つくと火災・感電の原因となります。

- 🔌 お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜く



感電の原因となります。

- 🔌 長期間使わないときは、必ず電源プラグを抜く



火災の原因となることがあります。

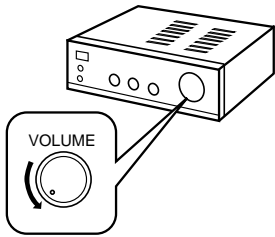


注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



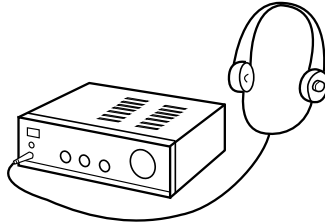
電源を入れる前には音量を最小にする



突然大きな音が出て聴力障害などの原因となります。



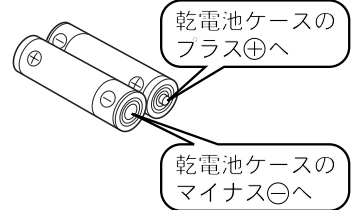
ヘッドホンを使うときは、音量を上げすぎない



大きな音で聞くと、聴力障害などの原因となります。



付属のリモコンに電池を挿入する場合、極性表示(プラス \oplus とマイナス \ominus)通りに入れる

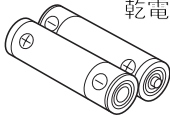


間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



指定以外の乾電池は使用しない

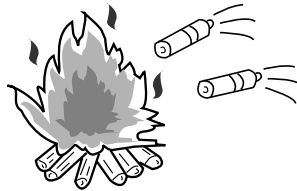
取扱説明書に記載されている乾電池を使用する



また、種類の違う乾電池、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となります。



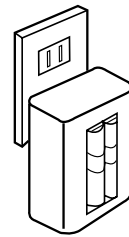
乾電池はショート、分解、加熱、火に入れるなどしない



発熱、液もれ、破裂などを起こし、けが、やけどの原因になります。



乾電池は充電しない



液もれ、破損などを起こし、けが、やけどの原因になります。



アンテナ工事には、専門の技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。



1年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください。

本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除しないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。

本機は音楽や映画などを再生する目的で設計されており、従って信号発生器やテストディスクの信号などを再生しますと、本機の故障の原因となるばかりではなく、スピーカをいためる原因となることがあります。

デジタルオーディオインターフェース規格は民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなくスピーカをいためる原因となることがあります。

特長

- ・ CD-R、CD-RWの録音(P. 17 ~ 27)
- ・ CD-R、CD-RW、CDの再生(P. 28 ~ 32)
- ・ リモコン操作(P. 14他)
- ・ カーサウンドプロセッシング
(ダイナミックレンジコンプレッション録音)
(P. 24)
- ・ サンプリングレートコンバータ搭載(P. 37)
- ・ シンクロ録音(P. 17 ~ 20)
- ・ デジタル録音レベル調節(P. 22)
- ・ 4倍速ファイナライズ(P. 25)
- ・ 4倍速消去(P. 26他)
- ・ CDダイレクトデジタル録音(P. 23)
- ・ トラックマーキング(オート / マニュアル)
(P. 23他)
- ・ デジタル入 / 出力端子(光 / 同軸)装備
(P. 11他)
- ・ プログラム再生(P. 30 ~ 31)
- ・ リピート再生(1曲 / 全曲)(P. 32)
- ・ ランダム再生(P. 31)
- ・ PHONES端子装備(P. 33)
- ・ ディスプレイの明るさ調節(P. 33)

目次

ディスクについて	8	再生する	28
ご使用になる前に	9	CDを再生する	28
付属品の確認	9	聞きたい曲を探す(トラックサーチ).....	29
輸送パッドについてのご注意	9	早送り / 早戻しする	
リモコンについて	10	(マニュアルサーチ).....	29
接続する	11	好きな曲を好きな順で聞く	
各部の名称	13	(プログラム再生).....	30
フロントパネル	13	曲を順不同に聞く(ランダム再生).....	31
ディスプレイ	13	繰り返し再生する(リピート再生).....	32
リモコン	14	インデックス番号を指定して聞きたい	
基本的な操作	15	箇所を再生する(インデックスサーチ)...	32
電源を入れる / ディスクを入れる	15	その他の機能	33
ディスクを取り除く / 電源を切る	16	ディスプレイの明るさを調節する	33
時間表示を選ぶ	16	ヘッドホンを使って聞く	33
録音する	17	その他	34
録音モードについて	17	デジタル録音のルール(シリアルコピー	
1曲のみ録音する(1曲シンクロ録音).....	18	マネージメントシステム).....	34
全曲を録音する(全曲シンクロ録音).....	19	ディスプレイ文字表示一覧	35
自動でファイナライズ録音する		ディスクの取り扱い	36
(フルオートシンクロ録音).....	20	本機のシステム上のご注意と制限	37
マニュアルで録音する	21	故障かな?と思ったら	38
録音レベルを調節する	22	仕様	39
トラックマークを追加する	23		
CDから直接録音する	23		
ダイナミックレンジコンプレッションを			
かけて録音する	24		
ファイナライズする	25		
1曲 / 全曲消去する(CD-RWのみ).....	26		

本機で録音できるディスクについて

本機の性能を十分生かすために、信頼できるCD-RまたはCD-RWをご使用ください。

本機で録音する場合、下記のマークが付いたディスクを必ずご使用ください。



またはディスクやケースに下記のいずれかの表示のあるディスクをご使用ください。

FOR CONSUMER

FOR CONSUMER USE

FOR MUSIC USE ONLY

録音用ディスクについて

- ・ CD-Rディスクは一度のみ録音が可能で、録音したデータの消去はできません。
- ・ CD-RWディスクは録音、データの消去、新たな録音が何度でも可能です。

本機で録音できないディスクについて

- ・ 上記のマーク/表示が付いていないディスク
- ・ パソコン用のデータを記録するためのディスク
- ・ 「FOR PROFESSIONAL USE ONLY」と表示のあるプロフェッショナル用のディスク

本機で再生できるディスクについて

上記のマーク/表示のついたCD-R、CD-RW、下記のマークが付いた市販のCDをご使用ください。



重要

- ・ ディスクの録音面に傷や指紋、汚れ、ほこりがある場合または直射日光がディスクに当たると、録音や再生が正しくできなくなる原因となりますので、ご注意ください。
- ・ ディスクのレーベル面に文字を書くときは、フェルトペン等の先の柔らかいものをご使用ください。ディスクが破損したり、正しく録音・再生できなくなる恐れがありますので、ボールペンや鉛筆等の先の尖ったものや、固いものをご使用にならないでください。
- ・ ディスクの取り扱い方やお手入れについて、詳しくは「ディスクの取り扱い」(36ページ)をご覧ください。

CD-Rのファイナライズについて

CD-Rは録音終了後、一般のCDプレーヤで再生できるようにするために、ファイナライズが必要です。ファイナライズすると、TOC Table of Contents がディスクに書き込まれます。

ファイナライズが終了すると、一般のCDプレーヤでCD-Rを再生できるようになります。

また、一度ファイナライズが終了したCD-Rに、さらに追加して録音することはできませんので、ご注意ください。

ファイナライズ済みのCD-Rでも、CDプレーヤによっては再生できない場合があります。

ファイナライズについて、詳しくは25ページをご覧ください。

CD-RWの再生について

CD-RWは、ファイナライズしても一般のCDプレーヤでは再生できません。

本機のような、CD-RW対応プレーヤでのみ再生が可能です。

また、CD-RWはファイナライズ済みでも消去可能で、追加録音も可能です。

録音の消去方法について、詳しくは26～27ページをご覧ください。

DVDプレーヤでの再生について

ファイナライズ済みのCD-RまたはCD-RWをDVDプレーヤで再生する場合、お手持ちのDVDプレーヤがCD-RまたはCD-RWの再生に対応しているか、ご確認ください。

対応していない場合は、DVDプレーヤでの再生は避けてください。

データ消失などの責任について

本機の使用に伴い、CD-RまたはCD-RWに書き込んだデータの消失、破損などお客様に生じた逸失利益、特別な事情から生じた損害(損害発生につき弊社が予見、または予見し得た場合を含みます)及び第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害については、一切責任を負いかねますので御了承ください。

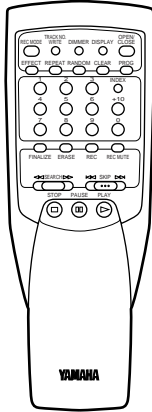
ご注意

レコード、CD、ラジオ放送番組などから録音する場合、音楽要素である歌詞とメロディーは著作権法によって保護されています。したがって、個人で楽しむ以外の目的でディスクを使用する場合は、権利者から許可を得る必要があります。

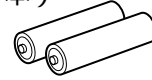
付属品の確認

付属品がすべてそろっているか、確認してください。

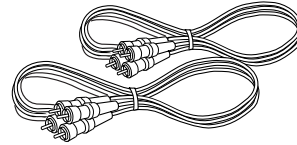
・ リモコン



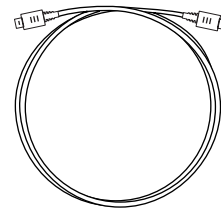
・ 単3乾電池 (2本)



・ オーディオコード (2本)



・ 光ファイバーケーブル

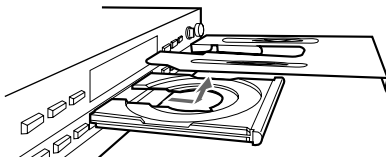


輸送パッドについてのご注意

本機を初めてご使用になる前に

本機には、輸送中の内部機構に対する衝撃に対処するため、ディスクトレイ上に輸送パッドが付いています。

本機を最初に使用する際に、前面のPOWERスイッチを押して電源を入れ、△ OPEN/CLOSEボタン (リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押してディスクトレイを開け、ディスクトレイ上の輸送パッドを取り外してください。

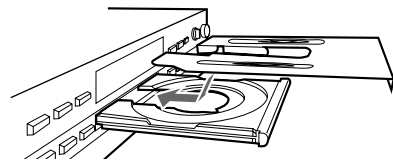


輸送パッドの保管

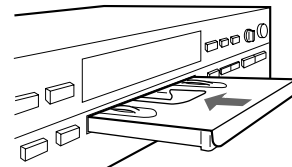
次回の輸送のために、輸送パッドは保管しておいてください。

輸送パッドの取り付け方法

- 1 POWERスイッチを押して、本機の電源を入れます。
- 2 △ OPEN/CLOSEボタン (リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを開けます。
- 3 輸送パッドをディスクトレイに置きます。



- 4 △ OPEN/CLOSEボタン (リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを閉じます。



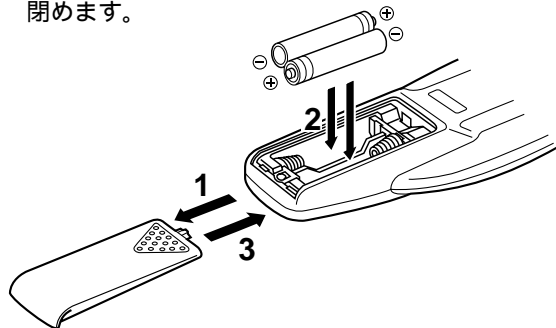
・ 輸送パッドの前面が本機よりはみ出した場合は、軽く手で押し込みます。

- 5 POWERスイッチを押して、本機の電源を切ります。

リモコンについて

電池交換のしかた

- 1 リモコンの裏のふたをはずします。
- 2 単3型乾電池を2個、プラス(+)とマイナス(-)の向きを確認して、表示どおりに正しく入れてください。
- 3 電池をセットしたらカチッと音がするまでふたを閉めます。



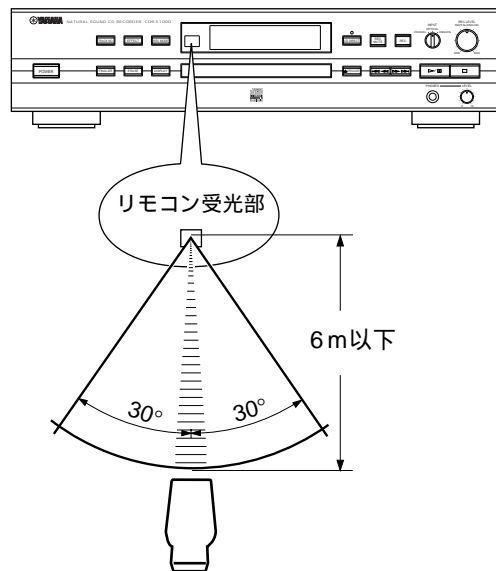
電池交換の時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池に交換してください。

乾電池についてのご注意

- ・ 単3乾電池をご使用ください。
- ・ 新しい電池と、一度使用したものを混ぜて使用しないでください。
- ・ アルカリやマンガンなど、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 充電式の乾電池はご使用になれません。
- ・ 電池のプラス(+)とマイナス(-)を金属片で直接つなぐこと(ショート)はしないでください。
- ・ 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- ・ 万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。

リモコンで操作できる範囲



付属のリモコンは...

ヤマハCDレコーダ専用です。

もし本機のリモコン操作によって誤動作をする機器があるときは、その機器の設置場所を変えてください。

ていねいに扱ってください

お茶や水をこぼしたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高いところにも置かないようご注意ください。

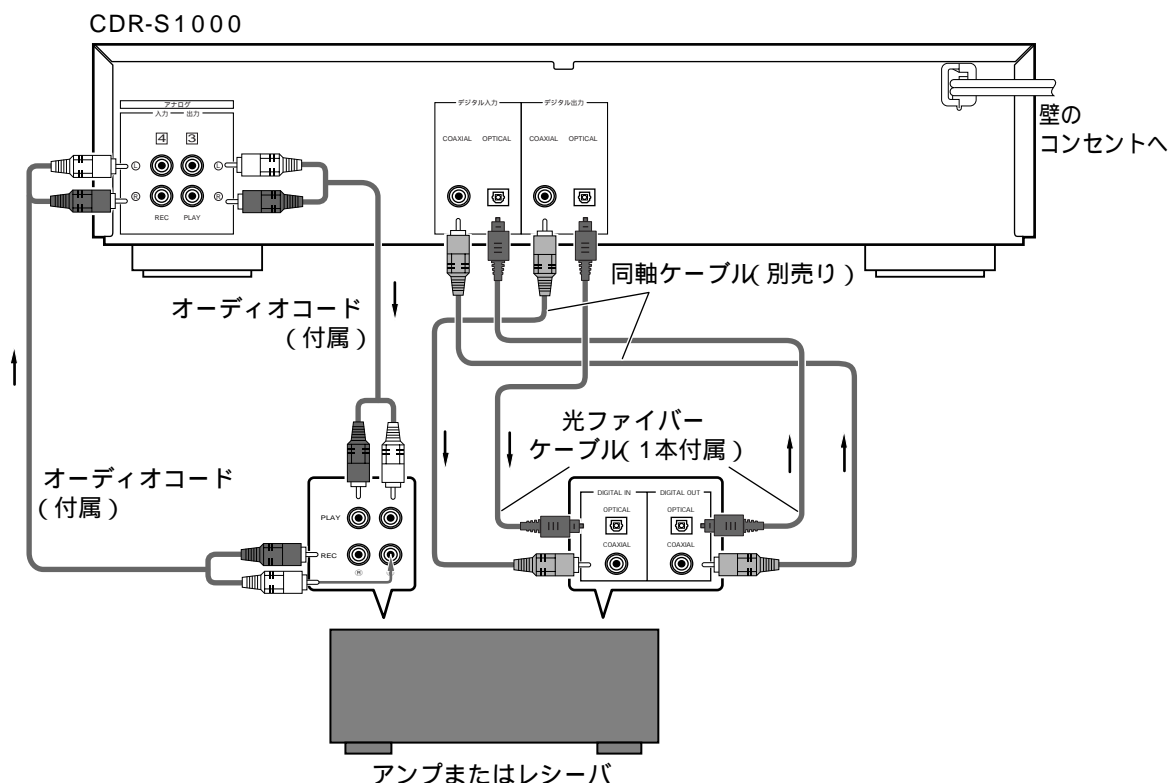
リモコン受光部に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください

強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、誤動作の原因となります。

接続する

接続を始める前に、必ず各機器の電源を切り、電源コードを壁のコンセントから抜いてください。

- ・本機の入/出力端子とアンプや各機器の入/出力端子を正しく接続してください。
- ・お手持ちの機器で、さまざまなソースから録音できるよう、アナログとデジタルの両方を接続することをお勧めします。
- ・下図の矢印(→)は音声信号の流れを示しています。
- ・各機器との接続が終了したら、電源コードを壁のコンセントに接続します。



デジタル入力/出力端子(COAXIAL/OPTICAL)を使って接続する

- ・接続する前にデジタルOPTICAL入力端子、出力端子に付いているカバーを取り外してください。(取り外したカバーは大切に保管してください。)
OPTICAL端子を使用しない場合は、ほこり等の侵入を防ぐため、常にカバーをはめたままにしておいてください。
- ・光ファイバーケーブルを使用して、本機のデジタルOPTICAL端子とお手持ちのアンプやレーザーのデジタルオプティカル端子を接続します。
- ・市販の同軸ケーブルを使用して、本機のデジタルCOAXIAL端子とお手持ちのアンプやレーザーのデジタルコアキシャル端子を接続します。
- * アナログ端子にデジタルオーディオコアキシャルケーブルを接続しないでください。
ノイズの原因となります。

次ページへつづく

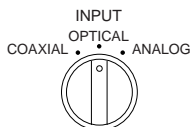
アナログ入力 / 出力端子を使って接続する

- ・アナログ入力(REC)端子、アナログ出力(PLAY)端子の左チャンネル(L)、右チャンネル(R)をよく確認して、正しく接続してください。
- ・本機のアナログ入力(REC)端子、アナログ出力(PLAY)端子とお手持ちのアンプやレシーバのアナログ入 / 出力端子を接続します。
接続に関して、詳しくはお手持ちのアンプやレシーバに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。
- ・本機のアナログ出力(PLAY)端子とお手持ちのアンプのアナログ入力(PLAY)端子を接続します。
同時に本機のアナログ入力(REC)端子とお手持ちのアンプのアナログ出力(REC)端子を接続します。
- ・本機のアナログ入力(REC)端子には④、アナログ出力(PLAY)端子には③と番号がついています。
弊社製のアンプと接続するときは、本機のアナログ入力(REC)端子、アナログ出力(PLAY)端子をアンプまたはレシーバの同じ番号がついた端子に接続してください。

前面のINPUTつまみで入力ソースを選ぶ

本機ではアナログ接続、デジタルオプティカル接続、デジタルコアキシャル接続が可能です。
録音するとき、前面のINPUTつまみで、下記の3種類の入力信号の中から選んでください。

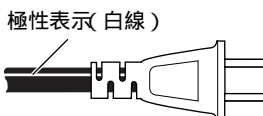
- ・デジタルソースを録音する場合、INPUTつまみをOPTICALの位置に合わせます。
デジタル入力OPTICAL端子に接続した機器からデジタル録音できます。
- ・デジタルソースを録音する場合、INPUTつまみをCOAXIALの位置に合わせます。
デジタル入力COAXIAL端子に接続した機器からデジタル録音できます。
- ・アナログソースを録音する場合、INPUTつまみをANALOGの位置に合わせます。
アナログ入力(REC)端子に接続した機器から録音できます。



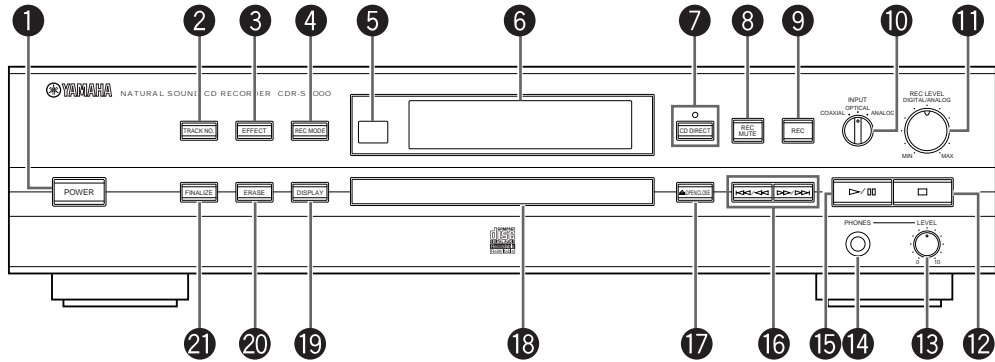
- ・INPUTつまみの設定に関わらず、本機ではアナログ、デジタル信号を同時に出力します。
信号の種類の選びかたについて、詳しくはお手持ちのアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ・INPUTつまみをOPTICALまたはCOAXIALの位置に合わせた場合、入力したデジタル信号のサンプリング周波数がディスプレイに点灯します。

電源プラグと極性表示について

すべての接続が終わってから、電源プラグを壁のコンセントに差し込んでください。
本機の電源コードには、電源トランスの巻始め側を極性表示(白線)されています。
プラグを差し替えると音質が変わる場合は、好みの極性でご使用ください。

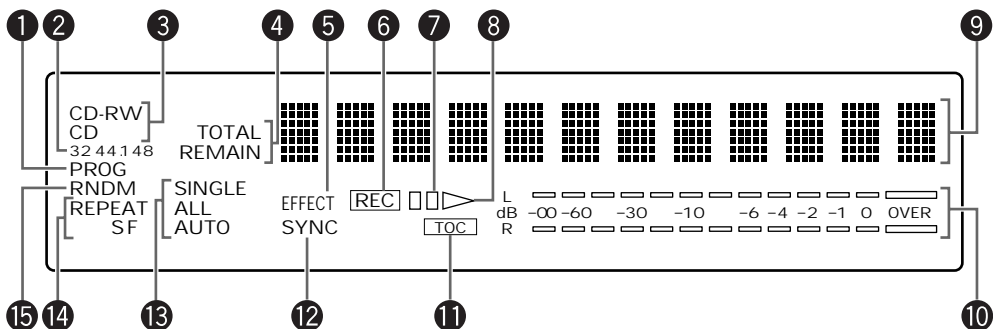


フロントパネル



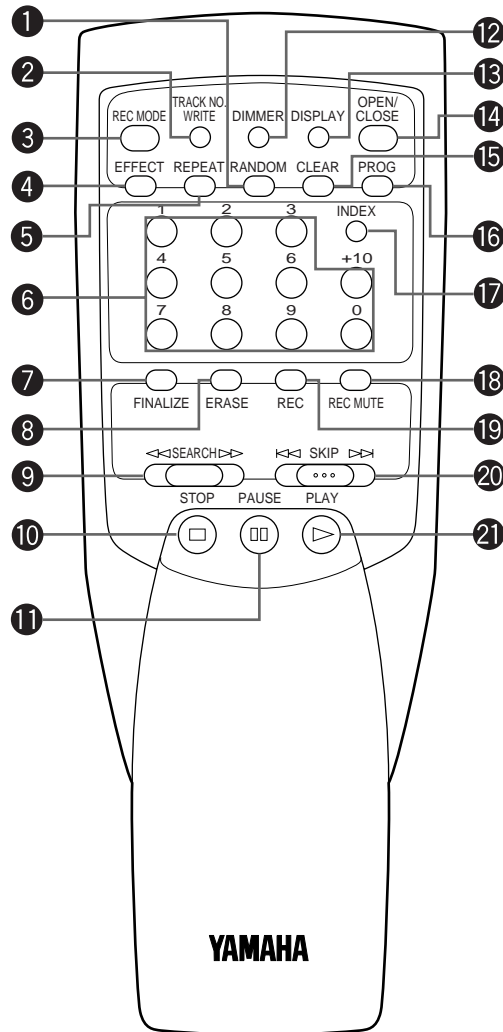
- | | |
|--|-----------------------------------|
| ① POWERスイッチ (P. 15、16) | ⑫ □ (停止) ボタン (P. 28) |
| ② TRACK NO. ボタン (P. 23) | ⑬ LEVEL つまみ (P. 33) |
| ③ EFFECT ボタン (P. 24) | ⑭ PHONES 端子 (P. 33) |
| ④ REC MODE ボタン (P. 18 ~ 20) | ⑮ ▷/⏏ 再生 / 一時停止 ボタン (P. 28) |
| ⑤ リモコン受光部 (P. 10) | ⑯ ◀◀/▶▶ (スキップ / サーチ) ボタン (P. 29) |
| ⑥ ディスプレイ (P. 16) | ⑰ △ OPEN / CLOSE ボタン (P. 9、15、16) |
| ⑦ CD DIRECT ボタン / インジケータ (P. 23) | ⑱ DISPLAY ボタン (P. 16) |
| ⑧ REC MUTE ボタン (P. 21) | ⑳ ERASE ボタン (P. 26、27) |
| ⑨ REC ボタン (P. 18 ~ 21) | ㉑ FINALIZE ボタン (P. 25) |
| ⑩ INPUT つまみ (P. 12) | |
| ⑪ REC LEVEL DIGITAL / ANALOG つまみ (P. 22) | |

ディスプレイ



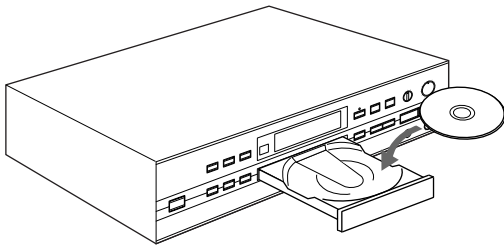
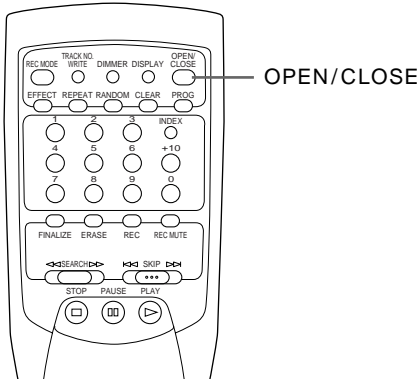
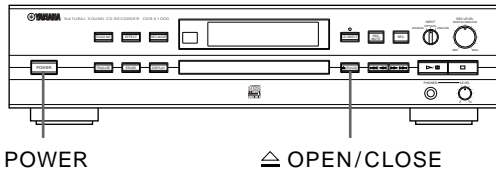
- | | |
|---------------------------------|---|
| ① PROG インジケータ (P. 30) | ⑨ マルチインフォメーション表示部 (P. 16) |
| ② サンプリング周波数インジケータ (P. 12) | ⑩ レベルインジケータ (P. 22) |
| ③ ディスクフォーマットインジケータ (P. 18 ~ 21) | ⑪ TOC インジケータ (P. 25、27) |
| ④ TOTAL / REMAIN インジケータ (P. 16) | ⑫ SYNC インジケータ (P. 18 ~ 20) |
| ⑤ EFFECT インジケータ (P. 24) | ⑬ SINGLE / ALL / AUTO インジケータ (P. 18 ~ 20) |
| ⑥ REC インジケータ (P. 18 ~ 21) | ⑭ REPEAT S / F インジケータ (P. 32) |
| ⑦ ◻◻ インジケータ (P. 18 ~ 21、P. 28) | ⑮ RNDM インジケータ (P. 31) |
| ⑧ ▷ インジケータ (P. 28) | |

リモコン



- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| ① RANDOMボタン(P. 31) | ⑫ DIMMERボタン(P. 33) |
| ② TRACK NO. WRITEボタン(P. 23) | ⑬ DISPLAYボタン(P. 16) |
| ③ REC MODEボタン(P. 18 ~ 20) | ⑭ OPEN/CLOSEボタン(P. 9、15、16) |
| ④ EFFECTボタン(P. 24) | ⑮ CLEARボタン(P. 30、31) |
| ⑤ REPEATボタン(P. 32) | ⑯ PROGボタン(P. 30、31) |
| ⑥ 数字ボタン(P. 28、30、32) | ⑰ INDEXボタン(P. 32) |
| ⑦ FINALIZEボタン(P. 25) | ⑱ REC MUTEボタン(P. 21) |
| ⑧ ERASEボタン(P. 26、27) | ⑲ RECボタン(P. 18 ~ 21) |
| ⑨ << SEARCH >>ボタン(P. 29) | ⑳ << SKIP >>ボタン(P. 29) |
| ⑩ STOP □ボタン(P. 28) | ㉑ PLAY ▷ボタン(P. 28) |
| ⑪ PAUSE ▢ボタン(P. 28) | |

電源を入れる / ディスクを入れる



ディスクを入れる

- 1 前面のPOWERスイッチを押し、電源を入れます。
- 2 △ OPEN/CLOSEボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを開けます。
- 3 ディスクトレイの溝に合わせてディスクを置きます。
 - ・ 録音済みのCDの場合はレーベル面を上にして置いてください。
 - ・ CD-RまたはCD-RWに録音する場合は、録音する面を下にして置いてください。
- 4 △ OPEN/CLOSEボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを閉じます。
- 5 録音 / 再生を始めます。
 - ・ 録音について、詳しくは17～25ページをご覧ください。
 - ・ 再生について、詳しくは28～32ページをご覧ください。

8 cm CDを入れる

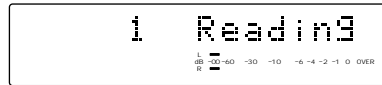
ディスクトレイの内側の溝に合わせてディスクを置きます。
8 cm CDの上に12 cm CDを重ねて置かないようご注意ください。

ご注意

- ・ ディスクトレイを静かに押しても、ディスクトレイは閉じません。
- 前面の▷/00ボタン、リモコンのPLAY▷ボタン、数字ボタン、RANDOMボタンを押して、ディスクトレイを閉じると再生が始まります。
このとき、ディスクの総曲数や録音総時間は表示されません。

未使用のディスクを入れると

本機にディスクを入れると、本機内部でディスクの種類や容量を読み取ります。
このとき、ディスプレイに「Reading」と表示され、約10秒かかります。

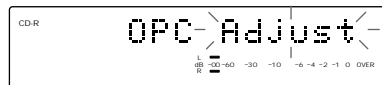


未使用のCD-RやCD-RWまたはディスク消去したCD-RWを本機に入れると、本機は最適な録音が行われるように、ディスクの反射に対し、レーザーの強さを自動的に調節します。
この過程はOPC (Optimum Power Calibration) と呼ばれます。

ご注意

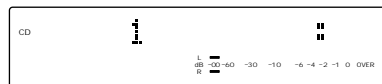
- ・ OPCは本機とディスクの両方に記憶されています。本機では、ディスク20枚までOPCを記憶します。20枚以降はデータが古い順に削除され、新しいデータが更新されます。本機がデータを記憶しているCD-Rでは、OPCは省略されます。(CD-RWでは、ディスク消去する際に、本機に記憶されているOPCのデータも消去されます。)

自動調節しているあいだ、ディスプレイに「OPC Adjust」と表示され、約15秒かかります。
この表示が消えるまで、録音はできません。

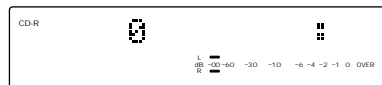


ディスク情報を読み取り、調節が完了すると、下記が表示され、操作可能になります。

録音済みの音楽用CDの場合



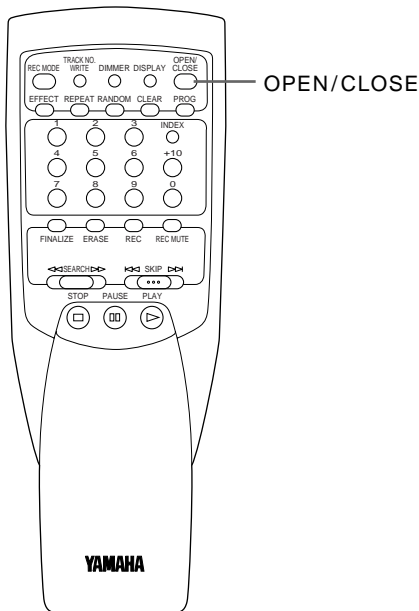
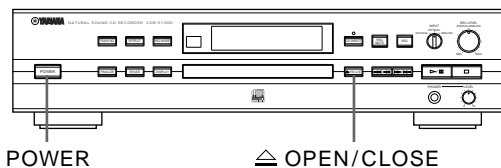
新品のCD-RまたはCD-RWの場合



ディスクを取り除く / 電源を切る

重要

CD-RまたはCD-RWに録音しているあいだや、録音が終了し、ファイナライズ中は、電源を切らないでください。ディスク破損の原因となります。CD-RとCD-RWのファイナライズについて、詳しくは25ページをご覧ください。



- 1 △ OPEN/CLOSEボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを開け、ディスクを取り除きます。
 - ・再生中の場合は、再生が自動的に止まり、ディスクトレイが開きます。
- 2 △ OPEN/CLOSEボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを閉めます。
- 3 前面のPOWERスイッチを押して、電源を切ります。

時間表示を選ぶ

DISPLAYボタンを押して、ディスプレイの表示を選びます。

DISPLAYボタンを押すたびに、下記のように表示が切り換わります。

再生時

再生中の曲の再生経過時間



再生中の曲の再生残り時間



ディスクの全再生時間



ディスクの総再生残り時間

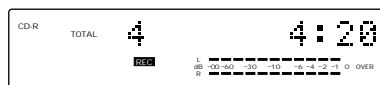


録音時

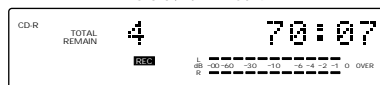
録音している曲の録音経過時間



ディスクの録音総時間



ディスクの録音残り時間



録音モードについて

本機には多様な録音モードがあります。アナログソース、デジタルソースの両方から幅広く録音できます。(ソース側のCD TEXT、インデックス等(サブコード)は記録されません。)

録音を始める前に

- ・お手持ちのアンプやレシーバで録音するソースを選んでください。
- ・前面のINPUTつまみが、録音するソースに適した位置になっているか確認してください。(詳しくは12ページをご覧ください。)

録音モード

CDやMDからデジタル録音する場合はシンクロ録音をお勧めします。アナログ録音する場合は、マニュアル録音をお勧めします。

1曲シンクロ録音

再生機側で再生が始まると同時に、1曲のみ録音が始まります。再生が終わると同時に録音が停止し、録音一時停止になります。色々なソースから好みの曲だけ録音するときに便利です。詳しくは18ページをご覧ください。

全曲シンクロ録音

再生機側で再生が始まると同時に、全曲を録音し始めます。再生が終わると同時に録音が停止します。CDやDAT、MD、LPをまるごと録音するのに便利です。詳しくは19ページをご覧ください。

フルオートシンクロ録音

全曲シンクロ録音した後に、自動的にファイナライズします。詳しくは20ページをご覧ください。

マニュアル録音

上記以外の方法で録音したほうが良い場合に使用します。

録音開始および停止はマニュアルで行ないます。詳しくは21ページをご覧ください。

重要

- ・録音中に電源を切らないでください。正しく録音できなかったり、ディスク破損の原因となります。
- ・CD-RWに録音中、停電や誤って電源コードを抜いてしまって電源が切れた場合は、PMA(Program Memory Area)に情報が書き込まれなかったトラックが無効になります。また、CD-Rに録音中の場合は、そのディスクが使用できなくなります。
- ・音飛びの原因となる場合があるので、録音中は衝撃や振動を本機に加えないでください。

以下の場合には録音できません

- ・CDまたはファイナライズ済みCD-Rを入れたときに、CDインジケータが点灯した場合
- ・ファイナライズ済みCD-RWを入れたときに、CD-RWインジケータとTOCインジケータが点灯した場合
- ・ディスクに録音残り時間が無く、「Disc Full」と表示された場合
- ・99曲すでに録音済みで、「Track Full」と表示された場合(1枚のディスクには、99曲までしか録音できません。)
- ・本機に入れたCD-RまたはCD-RWがオーディオ記録用でなく、「Not Audio」と表示された場合

ご注意

- ・本機のDIGITAL入力端子につないだ再生機器から、本機のDIGITAL出力端子につないだ機器へ録音する際、録音機能が正しく動作しない場合があります。
- ・再生機器によっては、本機のデジタル入力による録音ができない場合があります。

途中まで録音したディスクに録音する場合ファイナライズ前のCD-RやCD-RWでは、ディスクに録音残り時間があれば、どの録音モードでも録音できます。最後に録音した曲の後から、すぐに録音を始めることができます。

CD-Rを一般のCDプレーヤで再生する前に(ファイナライズ)

CD-Rに録音を終了したら、必ず録音の最後にディスクをファイナライズしてください。ディスクをファイナライズしないと、一般のCDプレーヤでCD-Rを再生できません。

- ・フルオートシンクロ録音で録音すると、録音が終了すると自動的にファイナライズします。

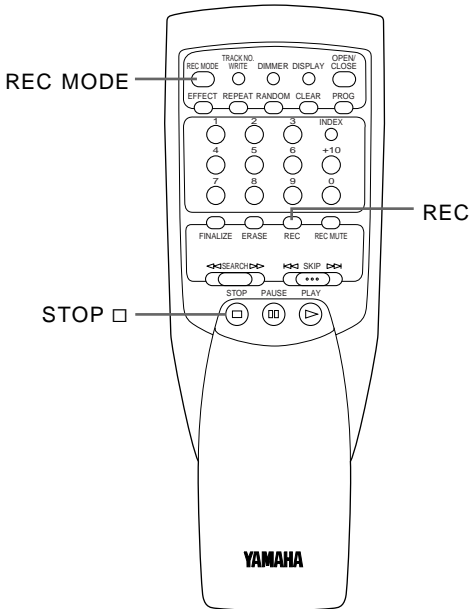
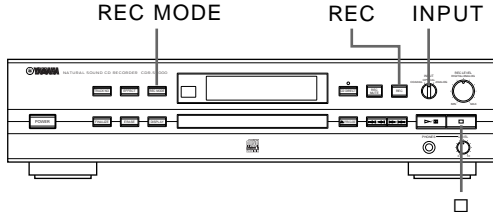
シンクロ録音モードをご利用になる際のご注意

- ・ビデオCDをソースとしてシンクロ録音する場合、再生機器によって、シンクロ録音機能が正常に動作しないことがあります。
- ・シンクロ録音を行う場合、ソース側のDVD機器の操作によっては、20秒間の無音が続いても停止しないときがあります。その場合は、□ボタン(リモコンではSTOP □ボタン)を押し、本機を停止させてください。
- ・本機でアナログ入力信号を録音するとき、極めて低いレベルの音は、無音として扱われますので、シンクロ録音の場合、この点にご注意ください。
- ・シンクロ録音時の入力信号の検出に要する時間は100 msec以下ですが、信号によっては最初の部分が録音されない場合があります。このような場合はマニュアルモードで録音を開始した後、シンクロ録音モードを選択してください。

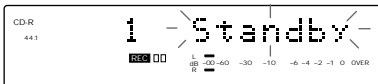
1曲のみ録音する (1曲シンクロ録音)

いろいろなオーディオソースから1曲ずつ編集録音するときには便利な操作です。

曲の頭に自動的にトラックマークが付きます。



- 録音可能なCD-RまたはCD-RWを入れます。
 - 録音用ディスクは、ソースの録音時間より長めのものをご使用ください。
- RECボタンを押します。
 - 録音一時停止になります。



- 前面のINPUTつまみの位置を、録音する入力信号に合わせます。

- 録音レベルを調節します。
(詳しくは22ページをご覧ください。)
 - デジタルソース、アナログソース両方の録音レベルを調節できます。
 - 録音レベルを調節したいソースを再生します。録音レベルを調節したら、ソース側の再生を止めます。
 - CD DIRECT機能がオンの場合、録音レベルを調節することはできません。
- ソース側の機器が一時停止または停止しているか確認します。
(ソース側の機器が再生中の場合はシンクロ録音できません。)
 - 次の手順に進む前に、もう1度録音する曲目を確認してください。
- REC MODEボタンを押します。
 - SINGLEインジケータとSYNCインジケータが点灯します。

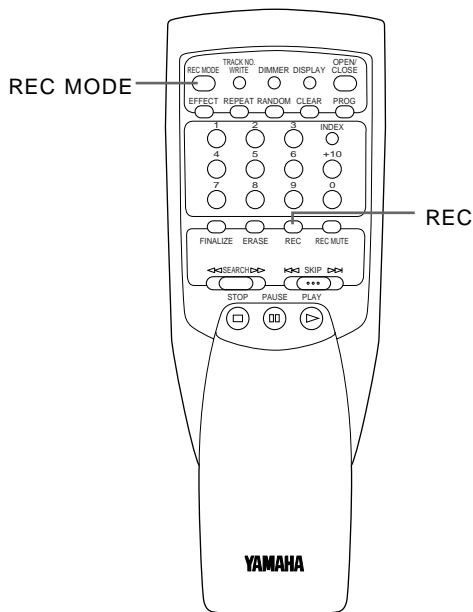
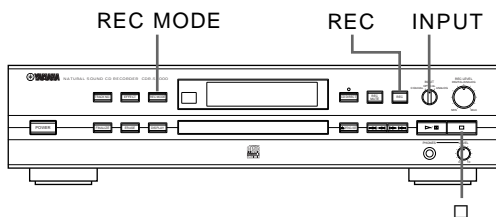


- ソース側の再生を始めます。
 - 本機は自動的に録音を開始します。
 - 1曲の録音が終了すると、ディスプレイに「Standby」が点滅します。点滅しているあいだ、PMA(Program Memory Area)にディスク情報が書き込まれます。書き込みが終了すると、本機は録音一時停止し、シンクロ録音モードが解除されます。
- 手順5～7を繰り返して、次に録音したい曲を録音します。
- すべての曲の録音が終了したら、□ボタン(リモコンではSTOP □ボタン)を押します。本機は停止します。

録音が終了したら、ファイナライズしてください。
(ファイナライズについて、詳しくは25ページをご覧ください。)

全曲を録音する (全曲シンクロ録音)

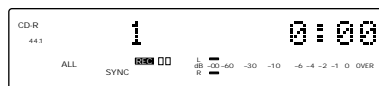
CDやMD、カセットテープ、LPなどから全曲まるごと録音するときに便利な操作です。録音している曲と同じタイミングでトラックマークが自動的に付きます。



- 録音可能なCD-RまたはCD-RWを入れます。
 - 録音用ディスクは、ソースの録音時間より長めのものをご使用ください。
- RECボタンを押します。
 - 録音一時停止になります。
- 前面のINPUTつまみの位置を、録音する入力信号に合わせます。



- 録音レベルを調節します。
(詳しくは22ページをご覧ください。)
- デジタルソース、アナログソース両方の録音レベルを調節できます。
 - 録音レベルを調節したいソースを再生します。録音レベルを調節したら、ソース側の再生を止めます。
 - CD DIRECT機能がオンの場合、録音レベルを調節することはできません。
- ソース側の機器が一時停止または停止しているか確認します。
(ソース側の機器が再生中の場合はシンクロ録音できません。)
- REC MODEボタンを2回押します。
 - ALLインジケータとSYNCインジケータが点灯します。

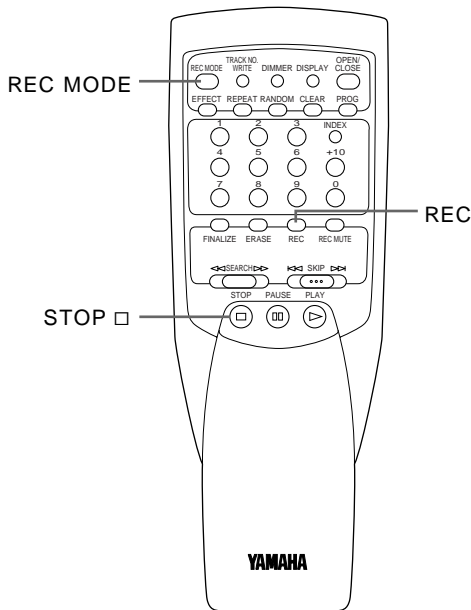
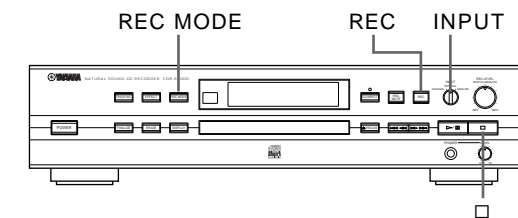


- ソース側の再生を始めます。
 - 本機は自動的に録音を開始します。
 - デジタル録音している場合、ソース側の機器で新しい曲が始まると同時にトラックマークが付きます。
 - 再生する機器によってはトラックナンバーが正しく記録されない場合があります。このときはマニュアルでトラックマーキングを行ってください。
 - アナログ録音している場合、無音部分が数秒続くと、曲間として認識します。次の曲が始まると同時にトラックマークが付きます。無音部分は約4秒間必要です。録音するソースにノイズや低いレベルの音が録音されている場合、トラックマークが自動的に付かない場合があります。このような場合は、マニュアル録音をお勧めします。
(詳しくは「マニュアルで録音する」(21ページ)をご覧ください。)
 - 約20秒間無音が続き、録音が終了すると、ディスプレイに「Wait」が点滅します。点滅しているあいだ、PMA(Program Memory Area)にディスク情報が書き込まれます。書き込みが終了すると、本機は停止します。
 - ソース側の機器でプログラム再生機能を使用して録音する場合は、必ず曲間を10秒以下にしてください。

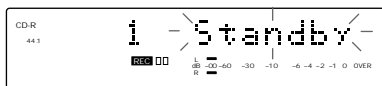
録音が終了したら、ファイナライズしてください。
(ファイナライズについて、詳しくは25ページをご覧ください。)

自動でファイナライズ 録音する (フルオートシンクロ録音)

フルオートシンクロ録音では、全曲シンクロ録音が終了した後、自動的にファイナライズします。ファイナライズとは、一般のCDプレーヤーでCD-Rを再生できるようにする、録音の最後の工程です。(ただし、CD-RWはファイナライズしても、CD-RWに対応している機器でしか再生できません。)ファイナライズについて、詳しくは25ページをご覧ください。

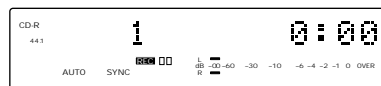


- 録音可能なCD-RまたはCD-RWを入れます。
 - 録音用ディスクは、ソースの録音時間より長めのものをご使用ください。
- RECボタンを押します。
 - 録音一時停止になります。



- 前面のINPUTつまみの位置を、録音する入力信号に合わせます。

- 録音レベルを調節します。(詳しくは22ページをご覧ください。)
 - デジタルソース、アナログソース両方の録音レベルを調節できます。
 - 録音レベルを調節したいソースを再生します。録音レベルを調節したら、ソース側の再生を止めます。
 - CD DIRECT機能がオンの場合、録音レベルを調節することはできません。
- ソース側の機器が一時停止または停止しているか確認します。(ソース側の機器が再生中の場合はシンクロ録音できません。)
- REC MODEボタンを3回押します。
 - AUTOインジケータとSYNCインジケータが点灯します。

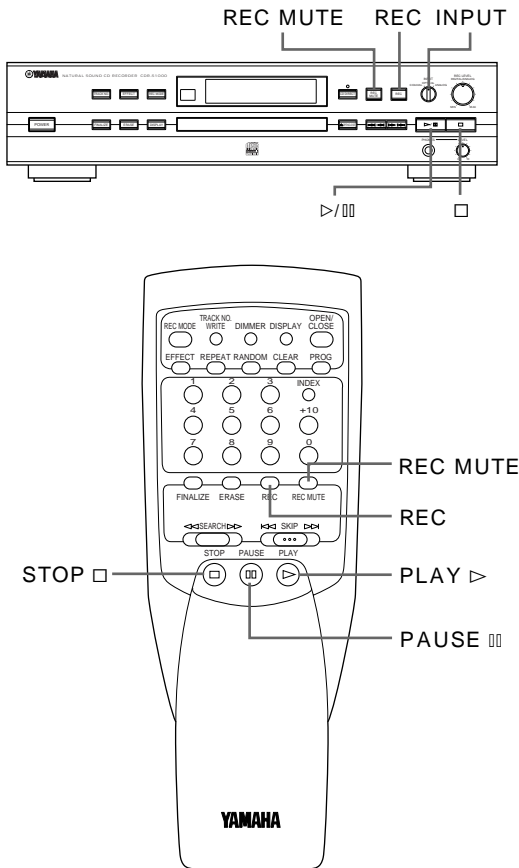


- ソース側の再生を始めます。
 - 本機は自動的に録音を開始します。
- 約20秒間無音が続き、録音が終了すると、ディスプレイに「Wait」が点滅します。点滅しているあいだ、PMA(Program Memory Area)にディスク情報が書き込まれます。書き込みが終了すると、自動的にファイナライズを開始します。
 - ファイナライズをやめるには、約20秒間の無音が続いているときに、STOPボタン(リモコンではSTOPボタン)を押します。このような場合は、FINALIZEボタンを押して、ファイナライズしてください(25ページ)。
 - ソース側の機器でプログラム再生機能を使用して録音する場合は、必ず曲間を10秒以下にしてください。
 - ファイナライズが始まると操作ボタンは効きません。
 - ファイナライズ中は決して電源を切らないでください。
 - 録音中、ディスクに録音残り時間が無くなった場合や、録音済みの曲数が99曲に達した場合は、ソース側の再生が続いていても録音を停止します。このとき、ファイナライズはしませんので、録音終了後、ファイナライズしてください。

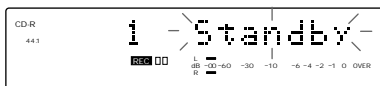
マニュアルで録音する

マニュアルで録音したほうが良い場合に使用します。

(CDやMDからデジタル録音する場合は1曲/全曲シンクロ録音をお勧めします。)



- 録音可能なCD-RまたはCD-RWを入れます。
 - 録音用ディスクは、ソースの録音時間より長めのものをご使用ください。
- RECボタンを押します。
 - 録音一時停止になります。



- 前面のINPUTつまみの位置を、録音する入力信号に合わせます。

- 録音レベルを調節します。

(詳しくは次ページをご覧ください。)

 - デジタルソース、アナログソース両方の録音レベルを調節できます。
 - 録音レベルを調節したいソースを再生します。録音レベルを調節したら、ソース側の再生を止めます。
 - CD DIRECT機能がオンの場合、録音レベルを調節することはできません。
- ▷/⏸ボタン(リモコンではPAUSE ⏸ボタンまたはPLAY ▷ボタン)を押して、録音を開始します。
- ソースを再生します。
- 録音が終了したら、□ボタン(リモコンではSTOP □ボタン)を押して、録音を停止します。
 - ディスプレイに「Wait」が点滅します。点滅しているあいだ、PMA(Program Memory Area)にディスク情報が書き込まれます。

録音を一時停止するには

▷/⏸ボタン(リモコンではPAUSE ⏸ボタン)を押して、録音を一時停止します。ディスプレイに「Standby」が点滅します。点滅しているあいだ、PMA(Program Memory Area)にディスク情報が書き込まれます。録音を再び始めるには、▷/⏸ボタン(リモコンではPAUSE ⏸ボタンまたはPLAY ▷ボタン)を押します。

録音した曲の最後に無音部分を作るには

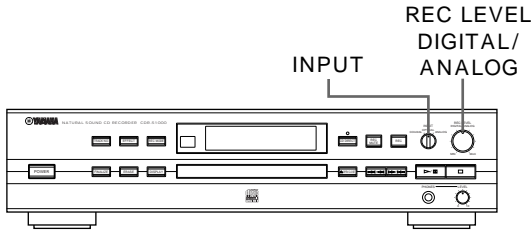
REC MUTEボタンを押します。

4秒間の無音部分が録音され、録音一時停止になります。

- 無音部分を録音しているあいだ、RECインジケータが点滅します。
- 4秒以上の無音部分を作りたいときは、REC MUTEボタンを押したままにします。ボタンから手を離すと、本機は録音一時停止になります。
- 本機が停止から録音一時停止になるとREC MUTEボタンは効かなくなります。

録音が終了したら、ファイナライズしてください。(ファイナライズについて、詳しくは25ページをご覧ください。)

録音レベルを調節する



デジタル録音レベルを調節する

デジタルオーディオソースでは音量レベルに差は少ないですが、ソースの種類によっては、違いが表れることがあります。

CDに録音されている録音レベルを合わせるために、デジタル信号の入力レベルを調節することができます。

・ CD DIRECT機能がオン(前面のCD DIRECTインジケータが点灯する)の場合、デジタル録音レベルは調節できません。

- 1 INPUTつまみを適切なデジタル入力の位置 (OPTICALまたはCOAXIAL) に合わせ、録音するデジタル信号を選びます。
 - 2 録音または録音一時停止中に、録音するデジタルソースを再生します。
 - 3 REC LEVEL DIGITAL/ANALOGつまみを回して、適切なレベルになるまで、デジタル信号レベルを調節します。
デジタル音量は+12dB(MAX)から-12dB(MIN)までの範囲で調節可能です。
- ・ つまみを中央の位置に合わせると、デジタル信号の入力レベルが0dBになります。

ご注意

- ・ ソースによってはピークレベルが低く(高く)録音されている場合もありますが、ピークレベルを低く(高く)設定しすぎると録音の質が低下してしまふことがあります。
- ・ CD DIRECTボタンを押し、前面のCD DIRECTインジケータを点灯させると、録音するCDのデジタル録音レベルに自動的に設定されます。
このとき、REC LEVEL DIGITAL/ANALOGつまみを回しても効きません。
- ・ デジタル録音レベルとアナログ録音レベルとは、つまみの位置とレベルが等しくありませんので、ご注意ください。

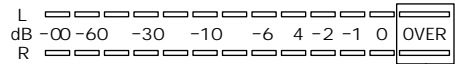
アナログ録音レベルを調節する

INPUTつまみをANALOGの位置に合わせ、アナログ信号を選びます。

録音または録音一時停止中に、REC LEVEL DIGITAL/ANALOGつまみを回して、アナログ録音レベルを調節します。

アナログ入力で録音する場合、録音するソースを再生し、一番大きな音が入ったとき、ディスプレイの0dBのレベルインジケータが点滅するように、録音レベルを調節します。

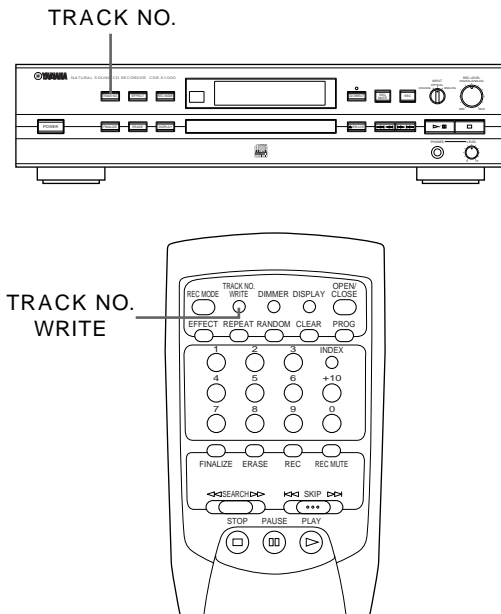
また、音が歪む原因となるため、OVERレベルインジケータは点灯しないように調節してください。



点灯させない

トラックマークを追加する

トラックマークをマニュアルで追加できます。



録音中、TRACK NO.ボタン(リモコンではTRACK NO. WRITEボタン)を押します。

- ・ TRACK NO.ボタン(リモコンではTRACK NO. WRITEボタン)を押した箇所に、トラックマークが追加されます。
 - ・ 4秒以下の曲は作れません。
- また、99曲以上はディスクに記録できません。ディスクに録音残り時間がある場合でも、99曲トラックマークが付いていると、それ以上録音できません。

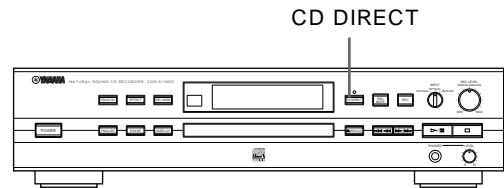
ご注意

- ・ DATからデジタル録音する場合、必ず曲の頭で一時停止させてからCD-Rに録音してください。
- ・ マニュアルでトラックマークを付けたほうが良い場合：
 - * アナログソースを録音するとき、極めて低いレベル信号で録音されている場合
 - * 衛生放送をデジタル録音する場合
- ・ シンクロ録音中もマニュアルでトラックマークを付けることができます。

CDから直接録音する

CDはサンプリング周波数44.1 kHzで録音されています。

本機はサンプリングレートコンバータなどの回路を通さずに、CDから録音できます。



- 録音一時停止中に、CD DIRECTボタンを押します。

- ・ CD DIRECT機能がオンのとき、CD DIRECTインジケータが点灯します。



- 録音を始めます。

(録音の手順について、詳しくは18～21ページをご覧ください。)

- ・ すべての録音モードで機能します。
- ・ CD DIRECTインジケータが点灯しているときは、録音レベルは調節できません。また、ダイナミックレンジコンプレッションをかけて録音することもできません。

CD DIRECT機能をオフにするにはもう1度CD DIRECTボタンを押します。

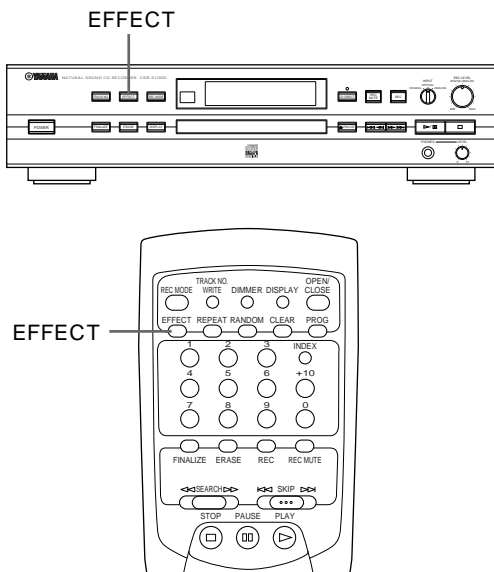
ご注意

- ・ ソース側のCDプレーヤによっては、CD DIRECT機能が働かない場合があります。CD DIRECT機能が働かない場合は、CD DIRECTインジケータが3秒間点滅し、消灯します。

ダイナミックレンジコンプレッションをかけて録音する

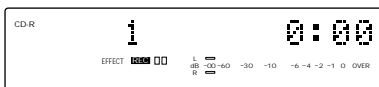
本機は、控えめな音を増幅し、大きな音のレベルを圧縮するダイナミックレンジコンプレッションのエフェクトをかけて録音できます。

車の中でCDを聞くとともに、聞きやすくなります。



1 録音または録音一時停止中に、EFFECTボタンを押します。

- ・ ディスプレイのEFFECTインジケータが点灯します。



2 録音を始めます。 (録音の手順について、詳しくは18～21ページをご覧ください。)

- ・ すべての録音モードで機能します。
- ・ 録音中、ダイナミックレンジコンプレッションのエフェクトを聞くことができます。

3 EFFECTボタンを押して、エフェクトを解除します。

- ・ ディスプレイのEFFECTインジケータが消灯します。
- ・ 録音が停止すると、ダイナミックレンジコンプレッションも解除されます。

ご注意

- ・ CD DIRECT機能がオンのときは、ダイナミックレンジコンプレッションをかけて録音できません。

ファイナライズする

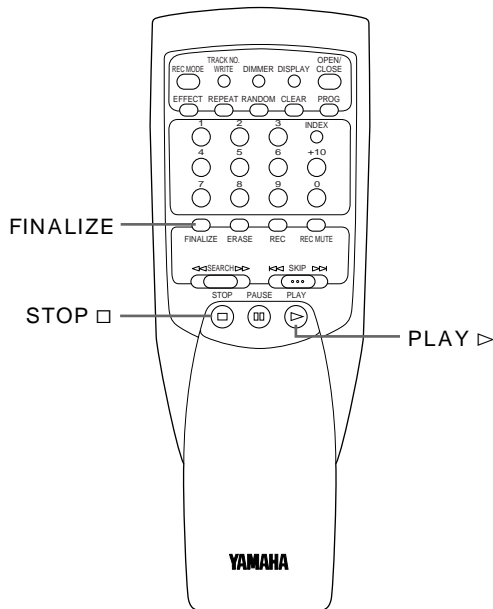
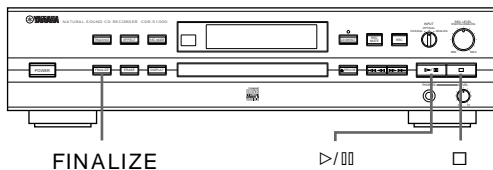
ファイナライズとは、録音が終了したCD-Rを一般のCDプレーヤで再生できるようにする最終処理です。

(ただし、CD-RWはファイナライズしても、CD-RWに対応している機器でしか再生できません。CD-RWは一般のCDプレーヤでは再生できません。)

- ・ファイナライズ済みのCD-Rには、追加で録音はできません。

ファイナライズする前に、録音がすべて終了したか、よく確認してください。

- ・ファイナライズ中は絶対に電源を切らないでください。ディスク破損の原因となります。



CD-R、CD-RWをファイナライズする

- 録音が終了し、ファイナライズ前のCD-RまたはCD-RWを入れます。
 - ・ディスクを入れる前に、ディスクに傷やほこり、指紋などの汚れが付いていないか確認してください。
 - もし、ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
 - (ディスクのお手入れについて、詳しくは36ページをご覧ください。)
- FINALIZEボタンを押します。



- ・ファイナライズを止めるときは、◻ボタン(リモコンではSTOP ◻ボタン)を押します。
- ▷/⏏ボタン(リモコンではPLAY ▷ボタン)を押して、ファイナライズを始めます。
 - ・ファイナライズが終了するまでの時間がディスプレイに表示されます。
 - ファイナライズが完了するまで約2分かかります。
 - ・CD-Rのファイナライズが完了すると、ディスプレイのCD-RインジケータはCDインジケータに切り換わり、本機は停止します。
 - ・CD-RWのファイナライズが完了すると、ディスプレイにTOCインジケータが点灯し、本機は停止します。

ファイナライズするときのご注意

- ・ファイナライズが始まると、ファイナライズが完了するまで、操作ボタンを受け付けません。
- ・ディスクに傷や汚れ、ほこりがあると、ファイナライズできない場合があります。
- ・ファイナライズ中は絶対に電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。

1曲 / 全曲消去する (CD-RWのみ)

CD-RWでは一度録音したものを消去できます。また、消去した箇所に、新たに録音できます。消去方法は4通りあります。

最終曲消去

ディスクの最終曲を消去します。この操作はファイナライズ済みのCD-RWや、1曲しか録音していないCD-RWではできません。

全曲消去

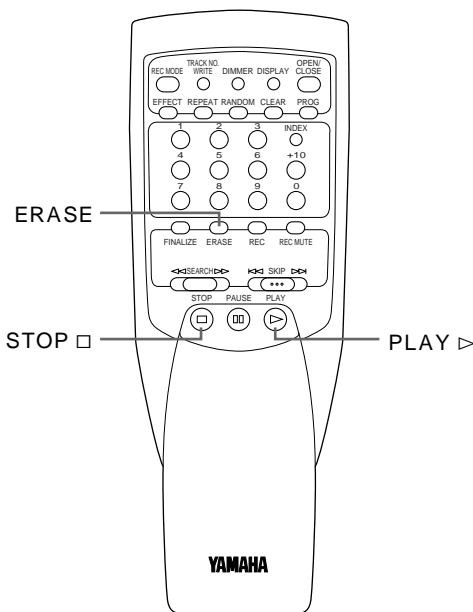
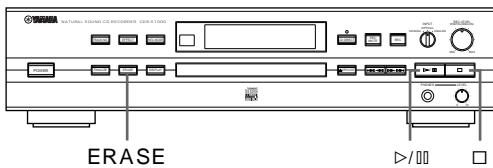
ディスクすべての曲を消去します。この操作はファイナライズ済みのCD-RWではできません。

TOC消去

この操作はファイナライズ済みのCD-RWでのみ可能です。TOCを消去した後は、追加の録音が可能となります。

ディスク消去

この操作はディスク上のすべての情報を消去します。主にディスクの修復用に利用するものです。



消去モードにするには

ERASEボタンを押すたびに、下記のように切り換わります。

ファイナライズ前のCD-RWの場合：
消去モード解除 → 最終曲消去 → 全曲消去

ファイナライズ済みのCD-RWの場合：
消去モード解除 → TOC消去

すべてのCD-RWにおいて：
ERASEボタンを約2秒押したままにすると、ディスク消去モードになります。

ご注意

- ・ファイナライズ前のCD-RWに、1曲しか録音されていない場合は全曲消去しかできません。

重要

- ・消去中は電源を切らないでください。本機の故障の原因やディスク破損の原因となります。
- ・消去中、ディスプレイに「Check Disc」と表示され、消去が停止した場合、ディスクが汚れていたり、破損している可能性があります。ディスクを取り出して確認し、もう一度消去を行なってください。

最終曲消去

- 1 消去したいCD-RWを入れます。
 - ・ファイナライズ済みのCD-RWでは消去できません。
- 2 ERASEボタンを押します。
 - ・ディスプレイに「Erase LAST?」と表示されます。
 - ・消去をやめたいときは、□ボタン(リモコンではSTOP □ボタン)を押します。
- 3 ▶/⏸ボタン(リモコンではPLAY ▶ボタン)を押して、消去を始めます。
 - ・消去が完了するまで、数秒かかります。
 - ・消去中は、ディスプレイに「Erase」と消去完了までにかかる時間が表示されます。
- 4 消去が完了すると本機は停止します。

全曲消去

- 1 消去したいCD-RWを入れます。
 - ・ ファイナライズ済みのCD-RWでは消去できません。
- 2 ディスプレイに「Erase ALL?」が表示されるまで、ERASEボタンを押します。
 - ・ 消去をやめたいときは、□ボタン(リモコンではSTOP □ボタン)を押します。
- 3 ▷/⏮ボタン(リモコンではPLAY ▷ボタン)を押して、消去を始めます。
 - ・ 消去が完了するまで、録音した時間により、数秒から約3分程かかります。
 - ・ 消去中は、ディスプレイに「Erase」と消去完了までにかかる時間が表示されます。
- 4 消去が完了すると本機は停止します。

TOC消去

- 1 ファイナライズ済みのCD-RWを入れます。
- 2 ERASEボタンを押します。
 - ・ ディスプレイに「Erase TOC?」と表示されます。
 - ・ 消去をやめたいときは、□ボタン(リモコンではSTOP □ボタン)を押します。
- 3 ▷/⏮ボタン(リモコンではPLAY ▷ボタン)を押して、消去を始めます。
 - ・ 消去が完了するまで、約1分かかります。
 - ・ 消去中は、ディスプレイに「Erase」と消去完了までにかかる時間が表示されます。
- 4 消去が完了すると本機は停止します。

ご注意

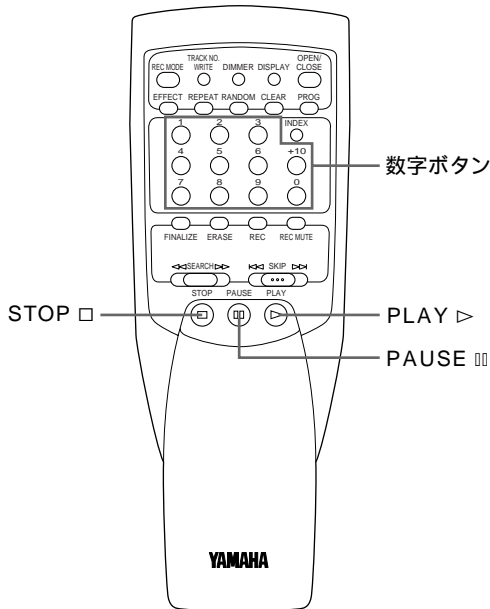
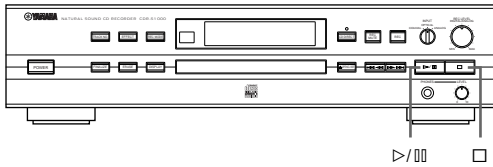
- ・ TOC消去が完了すると、TOCインジケータが消灯します。

ディスク消去

- 1 消去したいCD-RWを入れます。
 - ・ ファイナライズ前のCD-RWでも、ファイナライズ済みのCD-RWでも消去できます。
- 2 約2秒間、ERASEボタンを押したままにします。
 - ・ ディスプレイに「Erase DISC?」と表示されます。
 - ・ 消去をやめたいときは、□ボタン(リモコンではSTOP □ボタン)を押します。
- 3 ▷/⏮ボタン(リモコンではPLAY ▷ボタン)を押して、消去を始めます。
 - ・ 消去が完了するまで、ディスクの録音可能な総時間の約1/4かかります。
- 4 消去が完了すると本機は停止します。

CDを再生する

本機ではCD、CD-R、CD-RWを再生できます。



CDを再生するには

- 1 本機の電源を入れ、ディスクを入れます。
(詳しくは15ページをご覧ください。)
- 2 ▷/⏸ボタン(リモコンではPLAY ▷ボタン)を押します。
・1曲目の頭から再生が始まります。

一時的に再生を止めるには

▷/⏸ボタン(リモコンではPAUSE ⏸ボタン)を押します。
もう1度再生を始めるには、▷/⏸ボタン(リモコンではPAUSE ⏸ボタンまたはPLAY ▷ボタン)を押します。

再生を停止するには

□ボタン(リモコンではSTOP □ボタン)を押します。

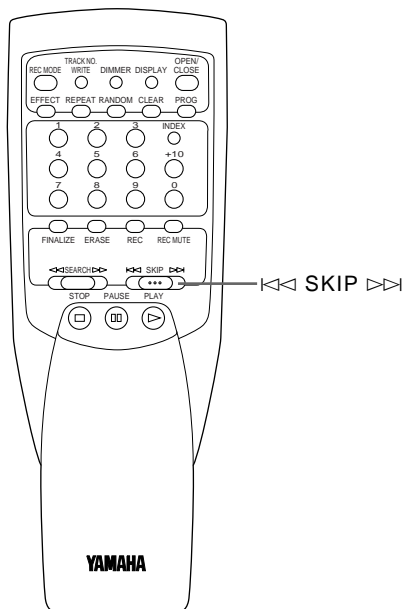
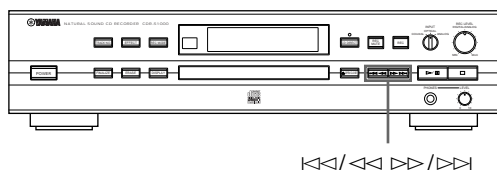
聞きたい曲から再生するには

リモコンの数字ボタンを押して、聞きたい曲を選びます。
ディスプレイに聞きたい曲番号が表示されます。
例：25曲目を選ぶ場合
+10ボタンを2回押し、すぐに5ボタンを1回押します。

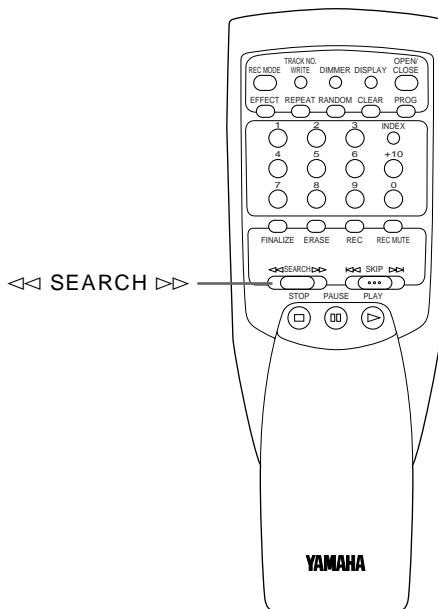
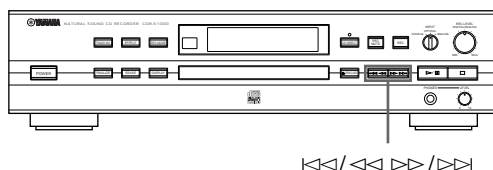
ご注意

- ・ディスクに録音されている曲数以上の曲番を選ぶと、ディスクの最後の曲を再生します。

聞きたい曲を探す (トラックサーチ)



早送り / 早戻しする (マニュアルサーチ)



次の曲を聞くには

再生中に、 $\triangleright\triangleright / \triangleright\triangleright$ ボタン(リモコンではSKIP $\triangleright\triangleright$ ボタン)を押します。
 続けて次の曲へ進むには、 $\triangleright\triangleright / \triangleright\triangleright$ ボタン(リモコンではSKIP $\triangleright\triangleright$ ボタン)を繰り返し押します。

再生中の曲の頭に戻るには

再生中に、 $\triangleleft\triangleleft / \triangleleft\triangleleft$ ボタン(リモコンではSKIP $\triangleleft\triangleleft$ ボタン)を1回押します。

前の曲を聞くには

再生中に、 $\triangleleft\triangleleft / \triangleleft\triangleleft$ ボタン(リモコンではSKIP $\triangleleft\triangleleft$ ボタン)を2回続けて押します。
 さらに前の曲に戻るには、 $\triangleleft\triangleleft / \triangleleft\triangleleft$ ボタン(リモコンではSKIP $\triangleleft\triangleleft$ ボタン)を繰り返し押します。

ご注意

- ・一時停止中または停止中も、 $\triangleright\triangleright / \triangleright\triangleright$ または $\triangleleft\triangleleft / \triangleleft\triangleleft$ ボタン(リモコンではSKIP $\triangleright\triangleright$ またはSKIP $\triangleleft\triangleleft$ ボタン)で曲を選べます。
 再生を始めるには、 $\triangleright / \text{PLAY}$ ボタン(リモコンではPLAY \triangleright ボタン)を押します。

早送りするには

再生中、 $\triangleright\triangleright / \triangleright\triangleright$ ボタン(リモコンではSEARCH $\triangleright\triangleright$ ボタン)を押したままにします。
 ボタンから手を離れたところから、通常の再生が始まります。

早戻しするには

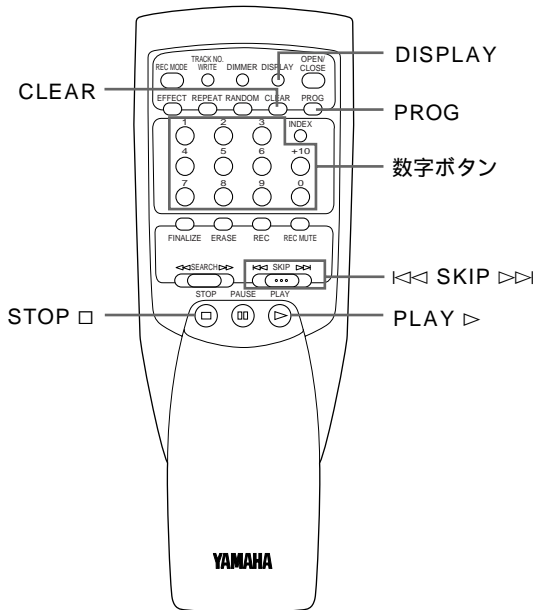
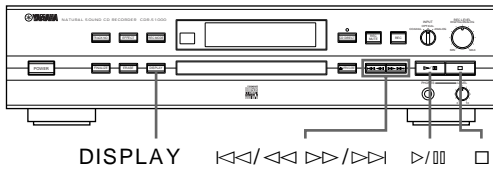
再生中、 $\triangleleft\triangleleft / \triangleleft\triangleleft$ ボタン(リモコンではSEARCH $\triangleleft\triangleleft$ ボタン)を押したままにします。
 ボタンから手を離れたところから、通常の再生が始まります。

ご注意

- ・ボタンを押しているあいだ、音は聞こえません。
- ・一時停止中でも早送り、早戻しできます。

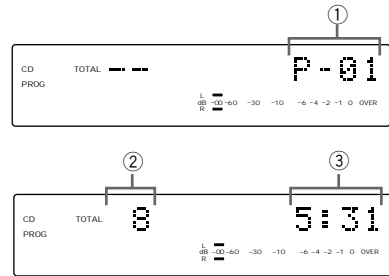
好きな曲を好きな順で聞く (プログラム再生)

聞きたい曲を聞きたい順で聞くとときに便利です。



- 1 リモコンのPROGボタンを押して、プログラムモードにします。
 - ・ディスプレイにPROGインジケータが点灯します。
 - ・リモコンのPROGボタンを押した後、ディスプレイに「P-01」と表示されない場合は、表示されるまで、DISPLAYボタンを繰り返し押します。
- 2 リモコンの数字ボタンを押して、聞きたい順に曲をプログラムします。
- 3 プログラムし終わったら、▶/00ボタン(リモコンではPLAY▶ボタン)を押して、プログラムした曲を再生します。

プログラム中の表示について



- ① プログラム番号が表示されます。
- ② プログラムした曲番が表示されます。
- ③ プログラムした曲の総再生時間が表示されます。総再生時間が100分を超えると、分表示は下2桁しか表示されません。

ご注意

- ・最大40曲までプログラムできます。
- ・プログラム中にDISPLAYボタンを押すと、プログラム番号表示がプログラムした曲の総再生時間表示に切り換わります。元の表示に戻すには、もう一度DISPLAYボタンを押します。
- ・プログラム再生中に、リモコンの数字ボタンを押すと、プログラム再生が停止し、数字ボタンで選んだ曲の頭にとびます。数字ボタンで選んだ曲の再生が終わると、プログラム再生が中断したときの次の曲に戻り、プログラム再生が始まります。
- ・プログラムした曲を選ぶには、プログラム再生中に◀◀/◀◀または▶▶/▶▶ボタン(リモコンではSKIP◀◀またはSKIP▶▶ボタン)を押します。
- ・プログラムしていない曲も含めて、ディスクのすべての曲を探すには、プログラム再生中に◀◀/◀◀または▶▶/▶▶ボタン(リモコンではSEARCH◀◀またはSEARCH▶▶ボタン)を押したままにします。

プログラムした内容を確認するには

- 1 プログラム再生中の場合は、□ボタン(リモコンではSTOP □ボタン)を押して、再生を止めます。
- 2 リモコンのPROGボタンを押します。
- 3 ▷▷/▷▷ボタン(リモコンではSKIP ▷▷ボタン)を押すたびに、プログラムした曲番とプログラムステップ数が順番に表示されます。
◀◀/◀◀ボタン(リモコンではSKIP ◀◀ボタン)を押すと、逆方向に表示が戻ります。

プログラムした内容を訂正するには

- 1 「プログラムした内容を確認するには」の手順1と2を行います。
- 2 ◀◀/◀◀または▷▷/▷▷ボタン(リモコンではSKIP ◀◀またはSKIP ▷▷ボタン)を押して、訂正したい曲番を表示させます。
- 3 リモコンの数字ボタンを押して、正しい曲番を選びます。
訂正前の曲番は消え、新しい曲番が表示されます。
- 4 プログラムの訂正を終えたら、リモコンのPROGボタンを押します。
訂正後すぐに再生を始めるときは、PROGボタンの代わりに、▷/▶ボタン(リモコンではPLAY ▷ボタン)を押します。

プログラム再生を止めるには

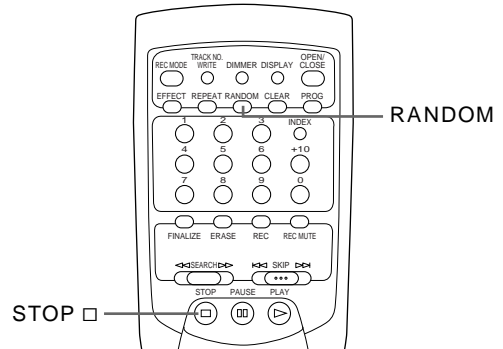
□ボタン(リモコンではSTOP □ボタン)を押します。
最初にプログラムした曲番がディスプレイに表示されます。
もう1度プログラム再生をするには、▷/▶ボタン(リモコンではPLAY ▷ボタン)を押します。
プログラムした最初の曲から再生します。

プログラムを解除するには

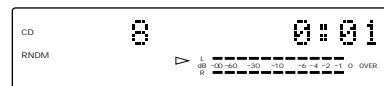
停止中に、□ボタン(リモコンではSTOP □ボタンまたはCLEARボタン)を押します。

曲を順不同に聞く (ランダム再生)

すべての曲を順不同で再生します。



RANDOMボタンを押します。
ディスプレイにRNDMインジケータが点灯し、順不同に再生が始まります。



ランダム再生を止めるには

STOP □ボタンまたはRANDOMボタンを押します。

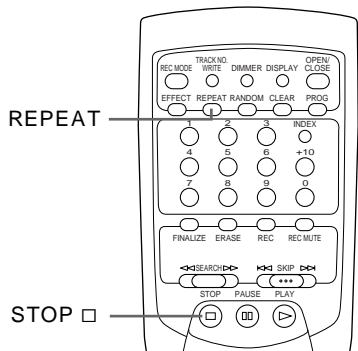
- ディスプレイのRNDMインジケータが消灯します。

ご注意

- プログラムを設定中またはプログラム再生中は、ランダム再生できません。
- ランダム再生中に、SKIP ▷▷ボタンを押すと、次に再生される曲に移ります。
SKIP ◀◀ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻ります。
- ランダム再生中は、前の曲に戻ることはできません。
- ランダム再生中は、総再生残り時間は表示されません。

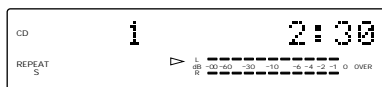
繰り返し再生する (リピート再生)

1曲またはディスク全体を繰り返し聞きことができます。



1曲リピート

ディスプレイにREPEAT Sインジケータが点灯するまで、繰り返しREPEATボタンを押します。

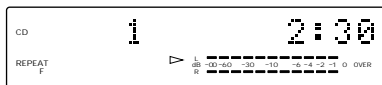


指定した1曲または再生中の曲を繰り返し再生します。

- ・1曲リピートはプログラム再生中またはランダム再生中でもできます。
(リピート再生モードを解除すると、通常のプログラム再生またはランダム再生が始まります。)

全曲リピート

ディスプレイにREPEAT Fインジケータが点灯するまで、繰り返しREPEATボタンを押します。



ディスク全曲を繰り返し再生します。

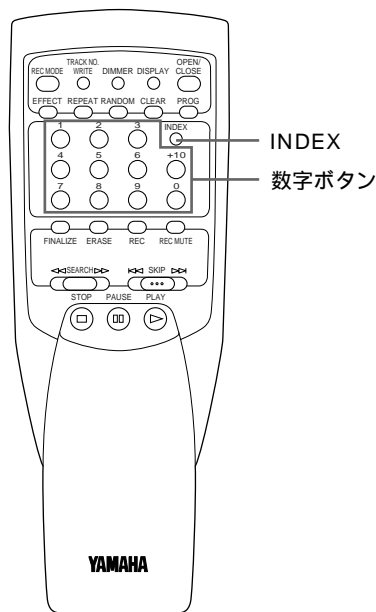
- ・プログラム再生では、プログラムした順に繰り返します。
- ・ランダム再生では、全曲を順不同に繰り返します。

リピート再生を止めるには

ディスプレイのREPEATインジケータが消灯するまで、REPEATボタンを押します。

インデックス番号を指定して 聞きたい箇所を再生する (インデックスサーチ)

インデックス番号が記録されたディスクでは、インデックス番号を指定して、そこから再生を始めることができます。



インデックス番号を選ぶには

- 1 数字ボタンで、インデックス番号が記録されている曲を選びます。
- 2 INDEXボタンを押します。
- 3 数字ボタンで、希望するインデックス番号を指定します。

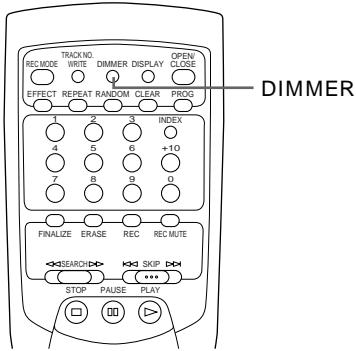
インデックスサーチを止めるには
INDEXボタンを押します。

ご注意

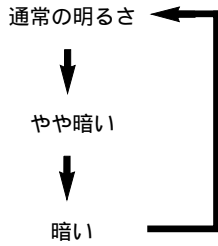
- ・インデックス番号が記録されていないディスクもあります。インデックスとは、1つの曲をさらに小さな部分(例えば、クラッシの楽章など)に区切り、番号付けたものです。
- ・インデックスが記録されているディスクには、ディスクの解説書に(IN:DEX)マークが付いています。
- ・ディスクに記録されているインデックス番号より大きな番号を指定すると、最後のインデックス番号から再生が始まります。
- ・ディスクによってはインデックス番号の少し手前から再生が始まる場合があります。
- ・インデックスが記録されていないディスクでインデックス番号を指定すると、選ばれている曲の頭から再生が始まります。

ディスプレイの明るさを調節する

ディスプレイの明るさを3段階に調節できます。

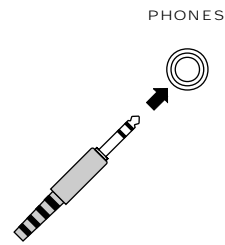
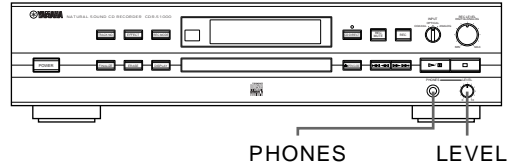


DIMMERボタンを押すごとに、下記のようにディスプレイの明るさが切り換わります。



ヘッドホンを使って聞く

お手持ちのヘッドホンのプラグをPHONES端子に接続します。
LEVELつまみを回して、ヘッドホンの音量を調節します。



デジタル録音のルール (シリアルコピー マネージメントシステム)

デジタル入力で録音したソースをさらにデジタル録音することはできません。

本機は、シリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。

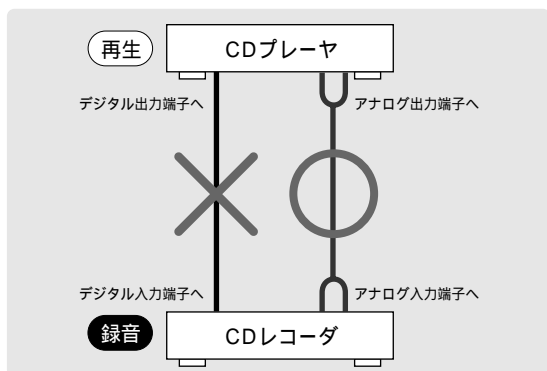
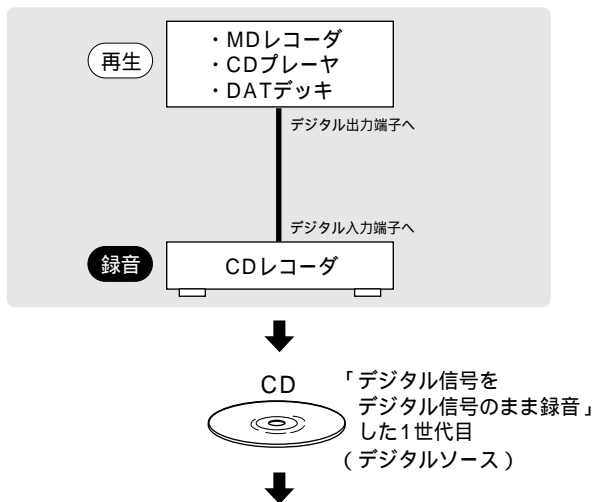
「シリアルコピーマネージメントシステム」は、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」するというデジタル信号どうしのコピーを「1世代まで」と規制したものです。

2つの原則があります。

原則1

コンパクトディスク (CD) またはデジタルオーディオテープ (DAT)、ミニディスク (MD) ソフトから、CDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。

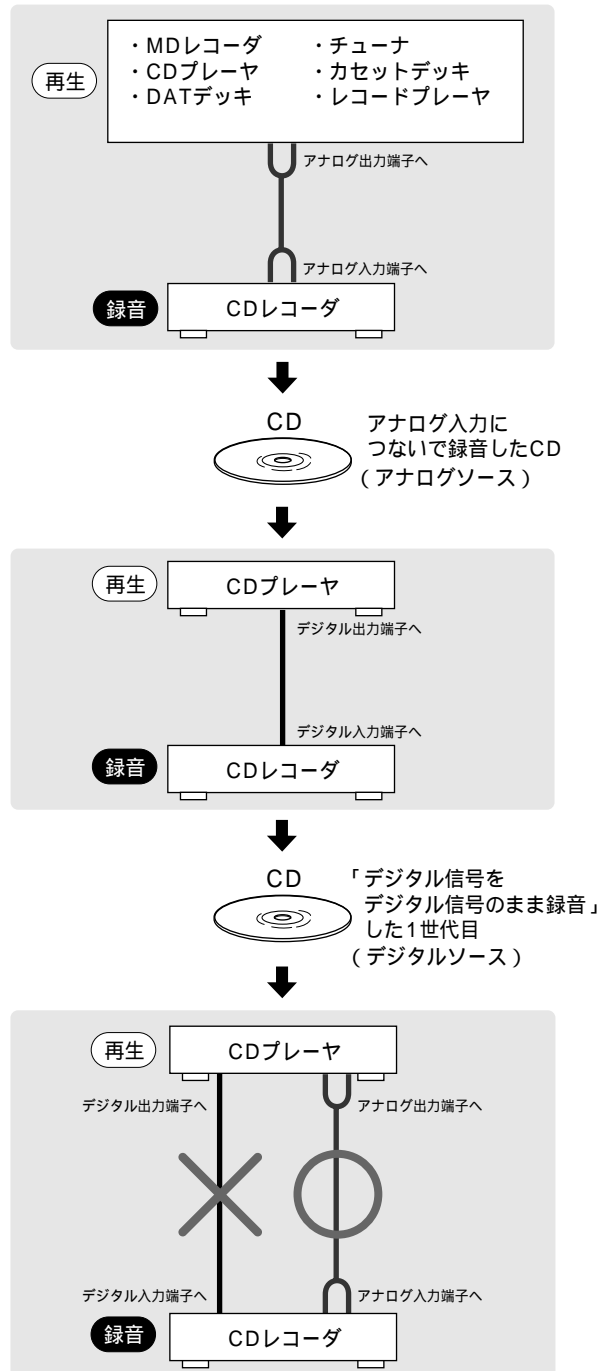
ただし、一度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したものを、他のCDへ「デジタル信号のままデジタル録音」できません。



原則2

アナログレコードやFM放送などを本機で録音したCDから、他のCDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」することができます。

ただし、一度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したCDから、他のCDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。



アナログ入力録音する場合には、何回でも録音できます。

ディスプレイ文字表示一覧

Can't Copy

デジタル録音できないときに表示されます。

(詳しくは、「デジタル録音のルール(シリアルコピーマネージメントシステム)(34ページ)をご覧ください。)

Check Disc

ディスクの読み取り実行後や、ディスク消去中、ファイナライズ中、OPC実行中に、それぞれの動作が停止したときに表示されます。

この場合、ディスクが汚れていたり、破損している恐れがあります。ディスクを取り出して確認してください。

CLOSE

ディスクトレイを閉めるときに表示されます。

Data Track

データトラックを再生しようとしたときに表示されます。

Disc Full

ディスクの録音時間いっぱい録音されているため、これ以上録音できないときに表示されます。

Erase ALL?

CD-RWに記録されているすべての曲を消すときに表示されます。

消したいときは▶/00ボタン(リモコンではPLAY▶ボタン)を押します。

Erase DISC?

CD-RWに記録されているすべての情報を消すときに表示されます。

消したいときは▶/00ボタン(リモコンではPLAY▶ボタン)を押します。

Erase LAST?

CD-RWに記録されている最後の曲を消すときに表示されます。

消したいときは▶/00ボタン(リモコンではPLAY▶ボタン)を押します。

Erase TOC?

CD-RWに記録されているTOC(Table Of Contents)を消すときに表示されます。

消したいときは▶/00ボタン(リモコンではPLAY▶ボタン)を押します。

Finalized

ファイナライズ済みのCD-RWに録音しようとするときに表示されます。

Finalize OK?

ディスクをファイナライズするときに表示されます。ファイナライズしたいときは▶/00ボタン(リモコンではPLAY▶ボタン)を押します。

New Disc

新品のCD-RまたはCD-RWを本機に入れたときや、ディスク消去または全曲消去したCD-RWを本機に入れたときに表示されます。

No Disc

ディスクが入っていないときに表示されます。

No Input

デジタル入力を選択したが、接続が正しく行なわれていないときに表示されます。

またはデジタル信号がソース側の機器から出力されていないときに表示されます。

この表示が表示されたときは、接続が正しく行なわれているか確認してください。

またはソース側の機器の状態を確認してください。

Not Audio

本機に入れたディスクが、音楽用のCD-RまたはCD-RWでないときに表示されます。

OPC Adjust

ディスクの反射に対して、本機のレーザーの強さを調節しているあいだ表示されます。

調節を行なうのに数秒かかります。

OPEN

ディスクトレイを開けるときに表示されます。

Reading

電源を入れたときやディスクを入れたとき、ディスクのフォーマットを読み込んでいるあいだ表示されます。

Standby

本機が停止または録音後、録音一時停止し、ディスク情報をPMA(Program Memory Area)に書き込んでいるときに表示されます。

この表示が出ているときは、電源を切らないでください。

TOC

ファイナライズしているとき、TOC(Table Of Contents)をディスクに記録しているあいだ表示されます。

Track Full

ディスクにすでに99曲録音されているため、これ以上録音できないときに表示されます。




Wait

本機が録音後、停止し、ディスク情報をPMA(Program Memory Area)に書き込んでいるときに表示されます。

この表示が出ているときは、電源を切らないでください。

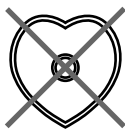
ディスクの取り扱い

録音が正常に行われず、録音したデータが損なわれる、本機が故障する等の障害が発生する原因となるため、ディスクのお取り扱いに関して、以下の事項を必ずお守りください。

- ・本機は 、、 マークのあるコンパクトディスク(8cm CD含む)をお使いください。本機ではCD-G、CD-ROM、VCD、CDV、DVDなどは再生できません。
- ・ディスクは本来、消耗しないようになっていますが、ディスクの取り扱い方によっては傷がつく場合があります。そのようなときは、正しく再生できないことがあります。
- ・クリーニングディスクや歪んだディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

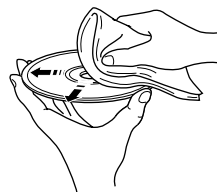
本機の故障を防ぐために

- ・規格外のディスクはご使用にならないください。ハート型や花の形などの変形ディスク(シェイプCD)は、重量バランスがアンバランスであるため、ご使用にならないください。規格外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく再生できないばかりでなく、ディスクトレイが開いたり、異音の発生や故障の原因となる場合があります。



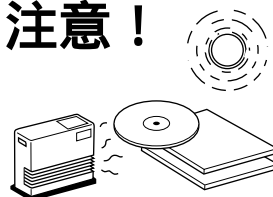
- ・レーベル面に紙やシール(レーベル面用ラベルシート含む)などを貼ったり、ボールペン等の先の尖ったものや固いもので文字を書かないでください。
- ・ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

- ・CD-RやCD-RWの録音面に、ほこりや指紋、傷などがあつたり、直射日光が当たると、録音や再生できなくなる場合がありますので、以下の点に特にご注意ください。
 - ・できるだけディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。
 - ・使用後のディスクは必ずケースに入れて保管してください。
 - ・信号記録面に、指紋やほこりが付いたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクにはレコード盤のような音溝はありません。ホコリや汚れは柔らかい布で軽く拭き取るだけで十分です。



- ・レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。ディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また、水で拭くことも避けてください。
- ・直射日光の当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置くとディスクが変形したり、変色したりして、使用できなくなる恐れがありますので、避けてください。

注意！



本機のシステム上のご注意と制限

録音できる曲の長さや曲数について

- ・ ディスクに録音できる曲の最短の時間は約4秒です。
4秒以内で録音を停止すると、4秒に達するまで無音を録音し、停止します。
- ・ ディスクに録音できる曲数は99曲です。
99曲を超えて録音しようとする、自動的に録音が停止します。
すでに99曲録音されていると、録音時間が余っていても、録音できません。

サンプリングレートコンバージョンについて

LPやカセットテープをCD-RやCD-RWにアナログ録音する場合、本機はアナログ信号を44.1 kHzのデジタル信号に変換して録音します。

デジタルソースをCD-RやCD-RWに録音する場合、本機はデジタル信号を44.1 kHzに変換して録音します。

本機は32 kHz、44.1 kHz、48 kHzのデジタル信号のソースを録音できます。

44.1 kHzのCDから信号を変換せずに録音する場合は、CD DIRECT機能をオンにして録音することをお勧めします。

オーディオ信号以外の録音について

本機はオーディオ信号の録音用に設計されています。

CD-ROMなどのオーディオ信号以外のソースからは録音できません。

入力したデジタル信号がオーディオ信号の場合に限って録音可能です。

また、CDグラフィックやCD TEXTのように、デジタル信号にグラフィックや文字情報が記録されている場合は、音声以外のデータは録音されません。

DATからデジタル録音するときのご注意

DATのスタートIDは、必ず音の始まる前に入れてください。

一般に、DATのオートID機能を使用して作成したテープは、スタートIDが音よりわずかに遅れて記録されています。

本機では、DATからのデジタル録音時に、このスタートIDで曲の切り換わりを検知しているため、デジタルシンクロ録音(1曲または全曲)の際に以下のような不具合を生じる場合があります。

- ・ 録音開始時、曲の頭が欠ける
- ・ 録音中、曲の頭よりわずかに遅れて、新しいトラックマークが付く
- ・ 録音終了時、次の曲の頭が録音される

上記を防ぐため、DATから録音する場合はマニュアル録音をお勧めします。

DATの操作について、詳しくはお手持ちのDATに付属の取扱説明書をご覧ください。

故障かな？と思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。
 その上で正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められた場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

症状	原因	対応のしかた
POWERスイッチを押しても電源が入らない。	電源プラグの差し込みが不完全。	電源プラグをコンセントにしっかり差し込み直してください。
ディスクを入れても再生できない。	ディスクが壊れている。	ディスクを確認してください。 ディスクを交換してください。
	レーザーピックアップに湿気がある。	電源を入れ直し、約20～30分経ってから、再生を始めてください。
	ディスクが裏がえしにセットされている。	ディスクのレーベル面を上にして入れてください。
	ディスクがひどく汚れている。	クリーニングしてください。
再生が始まるのに時間がかかる。違った場所から再生が始まる。	ディスクに傷がある、または壊れている。	ディスクを確認してください。 ディスクを交換してください。
録音できない。	ディスクがファイナライズされている。	ファイナライズ前の録音可能なディスクを入れてください。 CD-RWでは、TOC消去やディスク消去が必要な場合があります。
	すでに録音が完了しているディスクを入れた。	録音可能なディスクを入れてください。
	INPUTつまみの位置が適切でない。	INPUTつまみを入力信号に合った位置にしてください。
	ソース側の出力レベルが低すぎる。	ソース側の出力レベルをMAXに設定してください。
	ディスクに録音可能な残り時間が足りない、またはすでに99曲録音されている。	録音可能なディスクと交換してください。
	録音中に電源コードがはずれたり、電源が切れて、録音したものが消失した。	CD-Rの場合は、ディスクを交換してください。 CD-RWの場合は、最初から録音し直してください。
	ディスクが汚れている、または壊れている。	ディスクをクリーニング、またはディスクを交換してください。
録音したCD-RやCD-RWが、本機以外のCDプレーヤやDVDプレーヤで再生できない。	お使いのCDプレーヤやDVDプレーヤがCD-RまたはCD-RWに対応していない。	CD-RまたはCD-RWに対応しているCDプレーヤやDVDプレーヤをご使用ください。
	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
音飛びがする。	本機またはソース側の機器が振動やショックを受けている。	設置場所を変えてください。 (何らかの振動やショックによって、すでにソース自体が正しく録音されていない場合を除く。)
	ディスクがひどく汚れている。	クリーニングしてください。
ブーンというハム音がする。	接続が正しく行なわれていない。	オーディオコードをしっかりと接続してください。 オーディオコードを交換してください。
ノイズが出る。	ディスクが歪んでいる。	ディスクを交換してください。
リモコンで操作できない。	リモコンの乾電池が消耗している。	2本とも新しい乾電池に交換してください。
	本機から遠いところでリモコン操作している。受光部に向けてリモコン操作していない。	リモコン受光部から6m、60度の範囲内でリモコン操作してください。
	受光部に強い日光や照映 インバータ蛍光灯などが当たっている。	リモコン受光部に強い光が当たらないように本機の設置場所や方向、または照明の位置を工夫してください。
リモコンを使うとテレビが正常に機能しない。	リモコン受光部の付いているテレビの近くでリモコンを使用している。	本機をテレビから離れた場所に設置してください。 テレビのリモコン受光部を隠してください。

仕様

オーディオ部

周波数特性	5 ~ 20,000 Hz、 ± 0.5 dB
S/N比(EIAJ)	
再生	107 dB
録音	90 dB
高周波歪率(1 kHz)	
再生	0.004%
録音	0.008%
ダイナミックレンジ	
再生	100 dB
録音	94 dB

入力端子

アナログ入力(REC)端子	
形状	ピンジャック
標準入力レベル	500 mV/24 k
デジタル入力(OPTICAL)端子	
形状	光端子
デジタル入力(COAXIAL)端子	
形状	ピンジャック

出力端子

アナログ出力(PLAY)端子	
形状	ピンジャック
標準出力レベル(1 kHz、0 dB)	2.0 ± 0.5 Vrms
デジタル出力(OPTICAL)端子	
形状	光端子
デジタル出力(COAXIAL)端子	
形状	ピンジャック
PHONES端子	
標準出力レベル(150 Ω 、-20 dB)	300 mV/150

一般

電源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	28 W
外形寸法(幅 \times 高さ \times 奥行き)	435 \times 108 \times 400 mm
質量	6.3 kg
付属品	オーディオコード(2本) 光ファイバーケーブル リモコン 単3乾電池(2本)

仕様及び外観は改良のため変更することがあります。

本機は、電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証期間

お買上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

- 技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- 部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号は本機リアパネルに表示してあります。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお薦めします。摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口
AVお客様ご相談センター
TEL (03) 5488 - 5500



ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持ち込み窓口)

- 北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108
- 仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7
仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236 - 0249
- 首都圏 〒211-0025 川崎市中原区木月1184
TEL (044) 434 - 3100
- 浜松 〒435-0048 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内
TEL (053) 465 - 6711
- 名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652 - 2230
- 大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 877 - 5262
- 広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874 - 3787
- 四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7 ヤマハミュージック高松店内
TEL (0878) 22 - 3045
- 九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

愛情点検



永年ご使用の本機の点検を!

こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

営業部 TEL (053) 460 - 3451

品質保証室 TEL (053) 460 - 3405

住所および電話番号は変更になることがあります。